

# HTML アルバム 作成支援ツール

Ver. 1.2.3.3

## 機能・操作 解説書

### ご注意！

このソフトウェアは、一部 Java Script を使用した HTML 形式のアルバムデータを出力するものです。

HTML 形式ということで、閲覧時の環境が OS やブラウザの種類にあまり依存しないという反面、音声や動画などのマルチメディアファイルの再生に関しては、閲覧する環境に大きく依存します。

また HTML タグやスクリプトを独自に埋め込む場合はそれなりの知識が必要です。

以上の事を十分に把握した上でご利用ください。

### 夢企画

〒812-0061

福岡市東区筥松 2-3-17-202号

Phone : 092-624-1316

F A X : 092-624-1317

HomePage : <http://yumekikaku.jp/>

e-Mail : [mail@yumekikaku.jp](mailto:mail@yumekikaku.jp)

2012年 11月

<b>1</b>	<b>はじめに</b>	<b>- 3 -</b>
1-1	特徴	- 3 -
1-2	機能概要	- 4 -
1-3	作成手順概略	- 5 -
<b>2</b>	<b>使用許諾・免責・問合せ先</b>	<b>- 6 -</b>
2-1	使用の許諾・禁止事項等	- 6 -
2-2	免責事項・取引上の注意事項	- 6 -
2-3	問合せ先	- 6 -
<b>3</b>	<b>使用の準備と注意事項</b>	<b>- 6 -</b>
3-1	動作環境とインストール、アンインストール	- 6 -
3-2	注意事項	- 7 -
3-3	アルバム構築時に推奨するファイル形式と設定	- 7 -
<b>4</b>	<b>各画面の詳細</b>	<b>- 8 -</b>
4-1	起動画面	- 8 -
4-1-1	フォルダ選択ウインドウ	- 9 -
4-2	基本設定	- 9 -
4-2-1	基本情報タブ	- 9 -
4-2-2	ページ構成タブ	- 10 -
4-2-3	初期ページ雛形、機材情報雛形、注意事項等の雛形	- 10 -
4-2-4	外部ツール登録	- 11 -
4-2-5	動作・環境の設定	- 11 -
4-3	アルバム管理データの編集	- 12 -
4-3-1	構成タブ	- 13 -
4-3-2	表紙・配色・レイアウト タブ	- 17 -
4-3-3	写真タブ	- 20 -
4-3-4	ビデオタブ	- 22 -
4-3-5	その他タブ	- 24 -
4-3-6	収録情報タブ	- 25 -
4-3-7	機材情報タブ	- 25 -
4-3-8	注意・情報タブ	- 25 -
4-4	その他のウインドウ (機能)	- 26 -
4-4-1	ファイル選択	- 26 -
4-4-2	フォントと色の選択	- 27 -
4-4-3	簡易編集・簡易検査	- 28 -
4-4-4	メニューの選択と作成	- 29 -
4-4-5	リンクチェック	- 29 -
4-4-6	ファイル取込み	- 29 -
4-4-7	印刷処理	- 30 -
4-4-8	アップロード	- 30 -
4-4-9	その他の処理	- 31 -
4-4-10	データ作成ウインドウ	- 32 -
<b>5</b>	<b>データ仕様・その他資料</b>	<b>- 33 -</b>
5-1	アルバム管理データに登録できるファイル形式：(拡張子)	- 33 -
5-1-1	写真(静止画像)	- 33 -
5-1-2	ビデオ(動画)	- 33 -
5-1-3	音声	- 34 -
5-2	アルバムに登録できるデータ数	- 35 -
5-3	アルバム管理データ編集時のデータと、出力されたアルバムデータとの関係	- 35 -
5-4	ナビゲーション用メニュー画像の仕様	- 35 -
5-5	JAVASCRIPT を使用しないページについて	- 35 -
5-6	アルバムデータ生成後の修正について	- 36 -
5-7	音声データの時間修正	- 36 -
5-8	コメント内の自動リンクについて	- 37 -
5-9	HTML タグの埋め込みと特殊な命令	- 38 -
5-10	データ変換に関する仕様	- 39 -
<b>6</b>	<b>無難な使い方・他</b>	<b>- 41 -</b>
	制限解除コードと発行依頼について	- 42 -

## 1 はじめに

### 1-1 特徴

#### ◎ソフトウェアは・・・

- ・静止画・動画および様々なデータをまとめた、一定形式のHTMLデータを作成します。
- ・ハードディスク内で分散されたファイルをまとめて管理することが出来ます。
- ・起動直後は作成したアルバムの履歴が順次表示され、想いでも一入。
- ・動画ファイルからは、指定のフレームを静止画として切り出し可能。（環境により出来ない場合あり）
- ・写真ページの表示画像は、原画像から指定サイズの画像を自動生成。（縮小のみ）
- ・アルバムデータの簡易編集やHTMLタグの簡易組合せ検査機能も実装。
- ・USBカメラやDVカメラからの画像取込や音声入力機能により様々な記録を要する場面で活用していただけます。（制限解除コードの種類により機能の有無があります）
- ・登録された内容から、ちょっとしたカタログやメニュー、あるいはカレンダーなども作成可能です。

#### ◎作成されたHTMLデータは・・・

- ・OSに関係なく一般的なブラウザで閲覧可能。（注：音声や動画の再生は閲覧する環境に依存します。）
- ・パソコン画面を使った会議などで、プレゼン用資料として・・・
- ・様々な現場資料や教育用教材として・・・
- ・写真アルバムの自動表示機能で、商品や資料の紹介ディスプレイとしての利用も・・・
- ・「その他」ページでは様々なデータを対象としてそのまま受け渡し。  
（インターネットで公開する場合は、ファイル名に注意が必要です。）
- ・「収録情報」のページでは、ファイルの種類（拡張子の種類）と数をレポート。
- ・各コメント内のURLなどには自動的にリンクを設定可能。
- ・HTMLタグなどの埋め込みも可能なので、こったページ作りが可能。
- ・外部にある既成のページをアルバム内に表示する事も可能。
- ・JavaScript使用のページでは簡易検索機能も実装可。（写真・ビデオページのみ）

#### ※使い方は色々・・・

イベントの記録・商品や資料の整理・学習用教材など、ソフトウェア自体も、アルバムとして出力されたデータも、活用方法は様々です。

#### ※但し以下の制限があります。

- 1) 複合画像データ（マルチページTIFFなど）は扱えません。

但し「印刷・原画」フォルダを作成した場合は原画像が格納されますので、原画の表示を行うと環境により再現できる可能性があります。

縮小画像列や一般の表示画像及び編集中画面での再現は出来ません。

- 2) 色深度16ビットグレースケールTIFFなどの形式は扱えません。

※写真ページやビデオページ編集画面でリスト上に画像が表示できない場合は、.Net Framework 1.1 ServicePack1 を適用してください。

## 1-2 機能概要

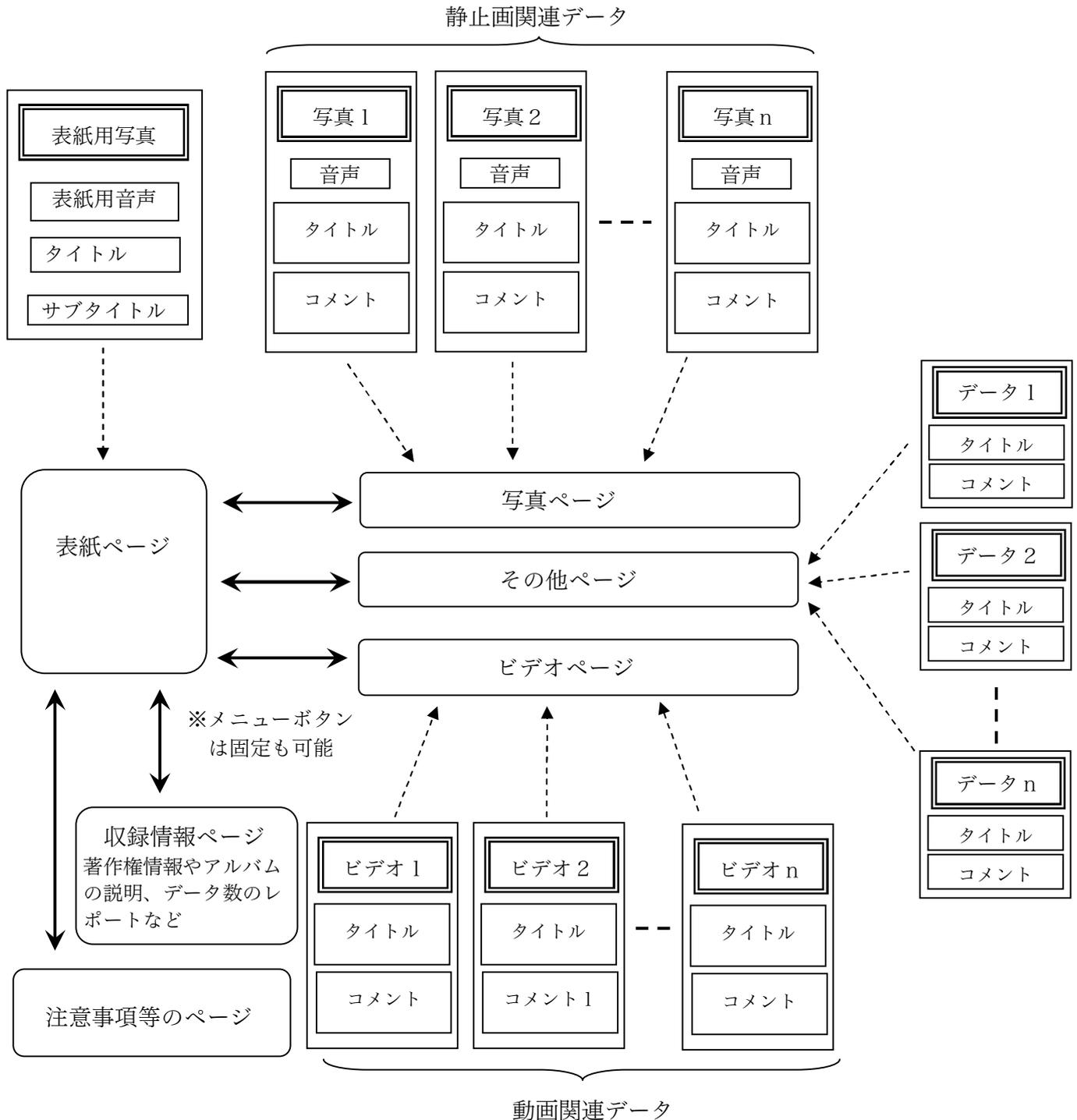
このソフトウェア（以下「ツール」と称します。）は、写真（静止画）およびビデオ（動画）ファイルそして種類を特定しない様々なファイルをHTML形式のアルバムとしてまとめたデータを出力するものです。

アルバムの写真ページではJavaScriptを使用して自動的に画像を切り換えることができます。また機能は制限されますが、JavaScriptを使用しないページも出力することが可能です。このことにより一般的なWEBブラウザによりOSの種類に関係なくアルバムの閲覧が可能となります。

このツールでは、写真・動画・音声・テキスト（文字）を主な内容として、大きくは「表紙ページ」・「写真ページ」・「ビデオページ」・「その他ページ」・「情報ページ」の5つのページでアルバムを構成します。

写真やビデオのデータ各々に対して、タイトルとコメントを設定できます。更に写真データに対しては音声データも設定することが可能です。これらをうまく利用し、単なるアルバムにとどまらず資料の整理や管理、プレゼンテーション用資料、商品カタログ、あるいは学習用の教材作成ツールとしてもご利用いただけるものと思います。

このツールと出力されるデータの関係は以下の図の様になります。



このツールは、写真やビデオなどの素材を編集するものではありません。各素材の作成・編集に関してはそれぞれ専用のソフトウェアをご使用ください。

このツールは既成の素材を組み合わせ、HTML形式アルバムの雛形を生成するものです。このツールにより出力されたデータは一般的なHTML編集ツール（ホームページ作成ソフトウェアなど）にて更に細かな調整や加工が可能です。またHTML形式であるため、インターネット上の公開サーバーに置くことで一般的なWEBページとして閲覧することも出来ます。

### 1-3 作成手順概略

#### 1) 用意するもの

まず構成要素である写真やビデオ、あるいは音声などの素材を用意し、ファイルに保存します。

写真はスキャナーなどを使用し、ビデオはビデオキャプチャーなどの専用ソフトウェアを使用してファイルに保存します。デジタルカメラでは、機種によりパソコンに直接接続して専用のソフトウェアを介さずにデータが得られるものもあります。

#### 2) 生成内容の設定

生成するアルバムのページ構成を設定し、各ページに収録する素材を指定します。

必要により個別のコメントを設定したりアルバム全般に対する注意事項などの内容を設定します。

#### 3) アルバムの生成

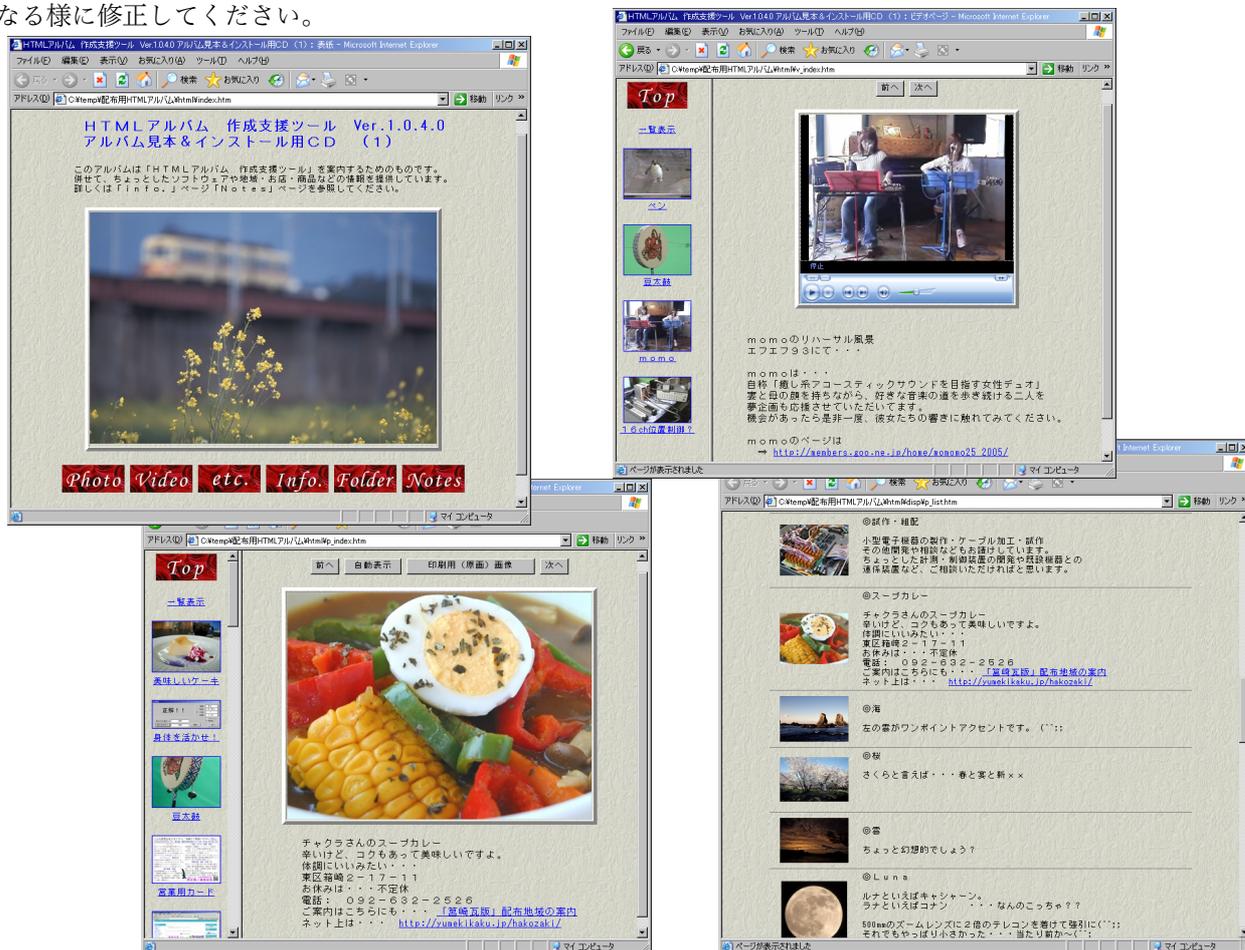
「アルバムを作成する」ボタンにより各設定に従った生成作業が開始され、結果が指定されたフォルダに書き出されます。

写真ページのメニューに使用するサムネイル画像（縮小画像）および表示用の画像はオリジナルの画像データから自動的に作成されます。ビデオページ用のメニューに使用される画像は、ビデオデータと同じフォルダに同じファイル名（拡張子のみを“jpg”にしたもの）があった場合にのみ、自動的にメニュー用画像を作成します。もしビデオデータに対する画像が無ければ「ビデオ1」などの文字がメニューとして設定されます。（PCの環境によってはビデオから任意フレームの画像も取り出せます。）

#### 4) 生成されたデータの利用

配布や保存用のCD・DVDデータとして、あるいはネット上の公開用データとしてご利用ください。

出力されたデータはあくまで雛形データです。レイアウトなどの細かな調整を行う場合は、市販のHTML編集ツール（ホームページ作成ソフトウェアなど）、あるいはメモ帳などのテキスト編集ツールを使用して所望のページとなる様に修正してください。



## 2 使用許諾・免責・問合せ先

### 2-1 使用の許諾・禁止事項等

本ソフトウェアは、夢企画（太田正実）の著作物であり日本国内において著作物としての法的保護を受けます。本ソフトウェアの取り扱いに関して以下の様に規定します。

- 1 本ソフトウェアを有償またはこれに類する形で配布及び第三者に使用させることを禁じます。
- 2 本ソフトウェアの解析・改造などの行為を禁止します。
- 3 本ソフトウェアの制限解除コードを第三者に公開することを禁じます。
- 4 本ソフトウェアの制限解除コードは、コードを正規に購入した者が直接管理するコンピュータの最大3台までに適用できるものとします。

### 2-2 免責事項・取引上の注意事項

- 1 本ソフトウェアの使用において発生したトラブルや不具合に対して、夢企画（太田正実）は一切の責任を負いません。
- 2 ソフトウェアの機能や動作の不具合に対してはその改善に努めますが、結果を提供するまでには時間を要します。また場合によっては次のバージョンにて解決を図り、有償となる場合もあります。
- 3 本ソフトウェアの正式な使用（試用モードの解除）には特定の**解除コード**が必要となります。この解除コードには有効期限があり期限内に解除手続きをしなければ試用モードの解除はできません。  
**本ソフトウェアでは1つの解除コードを発行する毎に料金をいただく方式をとっています。また先の条件により1つの解除コードで同一管理者が管理する場合のみ3台までに適用できます。**  
※無期限の解除コードや使用期間を制限した解除コードもあります。
- 4 制限解除コード発行のために領収した代金は、如何なる理由があっても返金には応じません。解除コード購入にあたっては試用モードの状態ですべて十分にテストを行ってご検討ください。

### 2-3 問合せ先

〒812-0061 福岡市東区筥松2丁目3-17 PLEAST箱崎ステーション 202号  
電話： 092-624-1316 FAX： 092-624-1317  
e-mail： mail@yumekikaku.jp  
※お電話は番号通知で！ 不在の場合はお名前などをお残し下さい。

## 3 使用の準備と注意事項

### 3-1 動作環境とインストール、アンインストール

#### 1) 動作環境

##### ハードウェア

IBM PC/AT およびその互換機で、利用する OS の必要最低限または推奨の環境を満たしていること。  
横 1024×縦 768dot 以上の画面域で、ビデオメモリとして2画面分以上利用できること。  
200MByte 以上の十分なハードディスク空き容量、x 8 6系CPU、CD-ROMドライブなど。

##### オペレーティングシステム

Windows XP ※Windows98SE や Me でも動作しますが、一部の機能が正常に動作しない場合があります。  
Vistaでは、管理者モードまたはファイルの削除等を許可する設定で実行してください。  
Windows7では Windows XP SP3 互換モードで実行してください。

##### ソフトウェアコンポーネント

Microsoft .Net Framework 1.1(+ SP1), Microsoft DirectX 9c 以降

#### 2) インストール

**注意！ Windows XP 以降のシステムにインストールする場合は、管理者権限で行ってください。**

配布用サンプルアルバムCDからインストールする場合は、CDをパソコンにセットします。CDの自動再生機能が有効になっている場合は、自動的にアルバムのサンプルが起動しますので、「Info.」メニューをクリックして「収録情報」のページを開きます。同ページにある「HTMLアルバム 作成支援ツール」の項目にあるリンク先をたどってください。

アルバムが自動起動しない場合は、CD内の html\_album フォルダにある setup.exe を実行します。

ダウンロードしたファイルからインストールする場合は、適当なフォルダでファイルを解凍した後、Setup.msi を実行します。（ダウンロード時に msi ファイルを直接処理できる環境の場合は、「保存」せずに「実行」を選択してもかまいません）

CDからインストールの場合、ご使用の環境により、Microsoft .Net Framework1.1 のインストールを促すメッセージが表示されます。この場合、Microsoft .Net Framework1.1、次に Japanese Language Pac の2つのインス

ツールが先に行われますのでメッセージに従って順次進めてください。(Microsoft .Net Framework1.1 のインストール直後はシステムの再起動が必要になる場合があります。)

Microsoft .Net Framework1.1 のインストール完了後に「HTML アルバム作成支援ツール」のインストールが開始されます。(Microsoft .Net Framework1.1 はインストールする PC に存在しない場合にのみインストールされます。)

また、同 CD-ROM の「DirectX」フォルダには、DirectX 9c 再配布版が収められています。ご使用のパソコンの DirectX が古いバージョンであれば、収められているプログラムを実行して出来るだけ新しいバージョンにすることを推奨します。

※インストール直後は「試用版モード」で起動し、扱えるデータ数や新規制作の回数等に制限を設けています。

正式使用モードにするには、制限解除コードの入力が必要です。メインメニューの「情報」をクリックし、正規に購入した解除コードを入力してください。

(解除コードには有効期限があるものと期限の無いものがあります。)

### 3) アンインストール

Windows のコントロールパネルから「プログラム (アプリケーション) の追加と削除」を起動し、「HTML アルバム作成支援ツール」を選択します。

Windows XP 環境では [削除] ボタンが既に表示されていますので、このボタンを押してください。他の環境では「修復と削除」のボタンをクリックすると、「修復」と「削除」の問い合わせウインドウが表示されますので、「削除」を選択して「次へ」ボタンを押してください。

※アンインストールによって、作成されたアルバムやデータが失われることはありません。

通常 (インストール時にフォルダを変えていなければ)、Program Files → 「HTML アルバム作成支援ツール」フォルダが作成されています。このフォルダはアンインストール後も残っていますので、お手数かけますが手動で削除をお願いします。

◎制限解除の状態は記録されていますので、同じバージョンを再度インストールした場合は解除コードの適用は必要ありません。(HD 交換や OS 再インストールなどがあつた場合は解除の記録も失われる事があります。)

## 3-2 注意事項

- 1 写真・音声・ビデオなどの各ファイルを指定する箇所では、必ずその系統のファイルを設定してください。ビデオファイルを設定する箇所写真などのファイルを設定したり、音声ファイルを設定する箇所写真などのファイルを設定すると予期せぬ動作異常を招く恐れがあります。**またツール上で再生出来ないファイルを読み込むと場合によってはプログラムが強制終了する場合があります。**
- 2 本ツールでは特殊な画像形式の取り扱いはできません。また編集時・アルバム閲覧時共に音声やビデオファイルの再生にはデータ形式に応じた再生ツールなどが必要です。アルバムを作成する環境および、そのアルバムを閲覧する環境を考慮して各データを作成してください。
- 3 コメント内の URL には自動的にリンクを設定する事が可能ですが、**文字列の最後には必ず半角の空白文字を入れてください。**リンクは全角文字 (“http://夢企画.jp” など) も対象にしますので半角の空白文字を区切りとみなします。自動リンクに関しては「コメント内の自動リンクについて」(→5-8) を参照してください。
- 4 表紙ページの「参照メニュー」や前記3のリンク設定機能の一部は、アルバムを閲覧する際のブラウザ固有の機能に依存して動作します。多くの環境で標準的に機能するものではないことをご承知ください。
- 5 HTML データの文字コードは出来るだけ「UTF-8」をご使用下さい。表現範囲の狭い文字セットを指定すると、実際に入力した文字が再現できない場合があります。また場合によってはアルバム作成処理が中止されることがあります。
- 6 自動リンク設定が有効な場合、コメント内のリンク部分には“¥”記号及び“ ” (半角空白文字) は使用できません。  
“¥”記号は“/”に変換されます。半角空白文字はリンク指定の区切りとみなしますので使用できません。
- 7 パスワード機能は情報漏れなどの防止を目的としたものではなく誤って内容を変えてしまう事を防ぐ程度の軽微なものです。(パスワードを紛失した場合は、パスワード変更モードの状態を入力枠の上から順に“H”, “E”, “L”, “P”, “!”, “!”を設定して「確定」ボタンを押してください。)

## 3-3 アルバム構築時に推奨するファイル形式と設定

- 1 静止画像は JPEG, TIF, PNG, BMP などのデータ形式にする。
- 2 動画は、ネットワークで配信する場合は WMV, ASF のデータ形式に、CD や DVD などで配布する場合および再編集可能なデータを提供する場合は AVI (非圧縮・DV1・DV2 など) や MPEG-1, MPEG-2 などの形式にする。
- 3 音声は、WAV, MP3, WMA, などのデータ形式にする。通常は MP3 や WMA 形式をお奨めします。音声データの編集に使ったり再生時間が短い (数秒) 場合は WAV 形式を推奨します。

## 4 各画面の詳細

### 4-1 起動画面

本ツール起動直後は、右の様なウィンドウが表示されます。

ウィンドウ中央に表示される内容は、過去に本ツールを使用して作成されたアルバムの履歴です。表紙画像とタイトルおよび作成日が過去100件分まで記録されていてここで順次表示されます。（※インストール直後は5件分のダミーデータが入っています。）

#### [自動リンク・他の説明] ボタン

自動リンクの対象となる文字列や本ソフトウェア使用上の簡単な注意事項などを表示します

#### [開く] ボタン

過去に本ツールにて編集したアルバム生成用の管理データを開きます。

右下の様な履歴リストが表示されますので、表示されているリストの中から所望の項目を選びます。リストは直近に利用された100件分が表示されますが、リストに無い物呼び出す場合は「フォルダを指定」ボタンを押して「フォルダ選択ウインドウ」（4-1-1）で、直接フォルダを指定してください。もし、指定したフォルダにアルバム生成用の管理データが無い場合は、その旨のメッセージが表示されますので、指定したフォルダの内容を確認してください。

アルバム管理データが正常に読み込まれた場合は、4-3の「アルバム管理データの編集」以降を参照して編集等を行ってください。

#### [新規制作] ボタン

アルバム管理データを新規に作成し制作作業環境を構築します。

4-1-1の「フォルダ選択ウインドウ」で、新しいアルバム管理データを格納するフォルダを指定します。必要によりフォルダを新規作成することも出来ます。

新規制作データを格納するフォルダを指定したら、4-3の「アルバム管理データの編集」以降を参照して、アルバム管理データを作成してください。

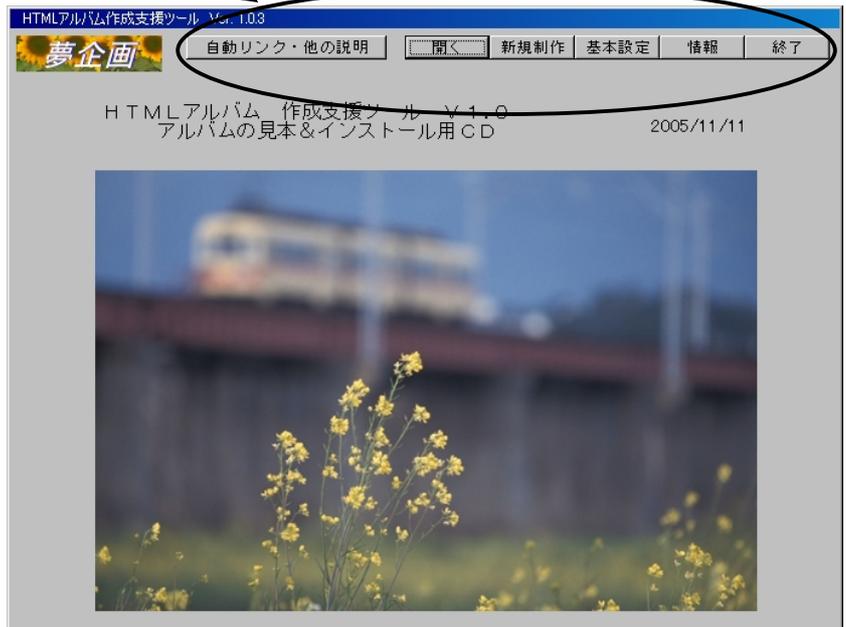
#### [閲覧] ボタン

選択された項目のアルバムを開きます。

#### [リスト更新] ボタン

管理データが無い項目をリストから削除し実体のあるものだけを残します。

メインメニュー



#### [基本設定] ボタン

アルバム管理データの基本的な設定を行います。

アルバムを作成するフォルダの初期位置・標準的なページ構成・各素材を編集するツールの登録などを行います。ここで設定したデータは新規制作時にアルバム構成データの初期設定データとして使用されます。

詳細については、4-2以降を参照してください

#### [情報] ボタン

本ソフトウェアの著作権情報等を表示します。

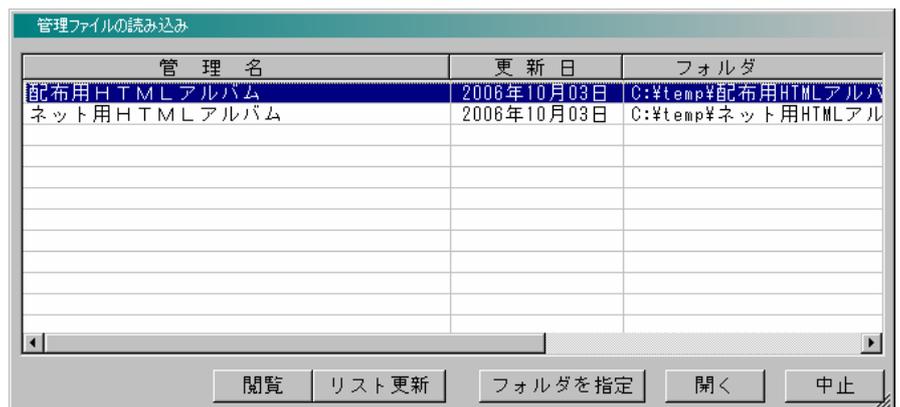
試用モードで動作している場合は、試用解除のためのコード入力枠も表示されます。

またパスワードの設定や解除も行います。

#### [終了] ボタン

本ソフトウェアの処理を全て終了します。

編集中のデータがある場合は、終了前に保存処理が行われます。



#### 4-1-1 フォルダ選択ウィンドウ

このウィンドウは、アルバムデータを保存するフォルダを指定したりする場面で表示されます。

フォルダを指定する場合は、目的のフォルダを選択状態にして [OK] ボタンをクリックするか、目的のフォルダに付けられたアイコンまたは名称の上でダブルクリックします。

##### [OK] ボタン

目的のフォルダを確定します。

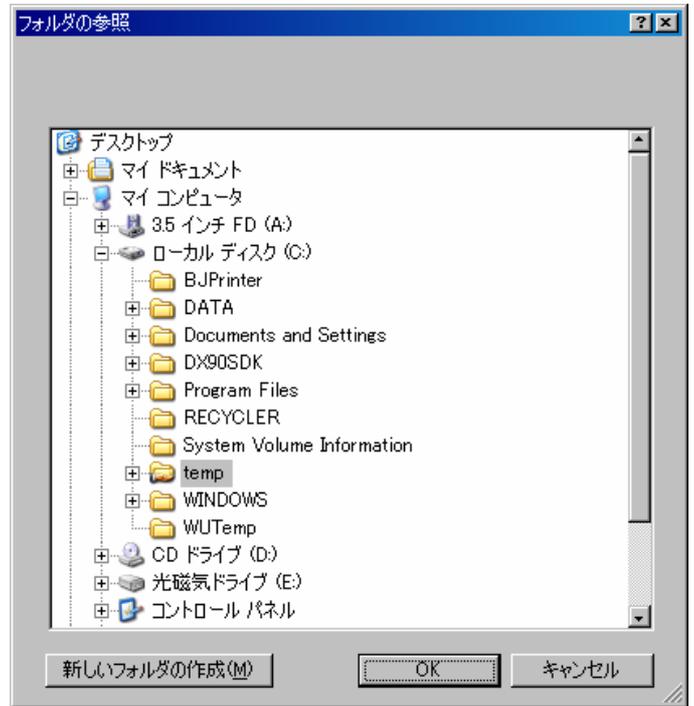
##### [キャンセル] ボタン

フォルダの選択処理を中止します。

##### [新しいフォルダの作成] ボタン

現在選択されているフォルダ、あるいはドライブの中に新しいフォルダを作成する場合にこのボタンを押します。

※このボタンは、フォルダを新規に作成することが許されている場面でのみ表示されます。



#### 4-2 基本設定

ここでは、主に以下の内容を設定します。ここで設定した内容は、アルバムを新規制作する場合にアルバム管理データの初期値として利用されます。

アルバム作成のための最終的な設定は、「アルバム管理データの編集」(→4-3)で行います。

- 1) 制作者情報 著作権情報として制作者名や連絡先などを設定します。
- 2) ページ構成 アルバムの基本的なページ構成や各情報枠の雛形文を登録します。
- 3) 外部ツール 写真やビデオの編集、CD/DVDのライティングツールなどがあればここに登録します。

##### [登録] ボタン

各設定を保存してウィンドウを終了する場合に、このボタンを押します。

##### [中止] ボタン

設定の変更を破棄してウィンドウを終了する場合に、このボタンを押します。

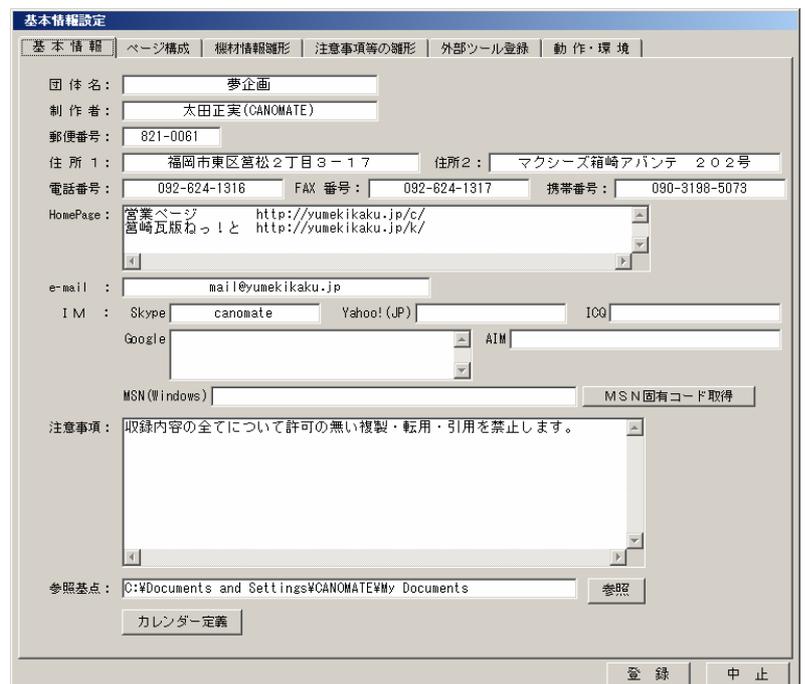
何らかの設定変更が行われていた場合は、変更の破棄を確認する問い合わせのメッセージが表示されますので必要に応じて処理を指示してください。

#### 4-2-1 基本情報タブ

このタブでは制作者情報と著作物としての取り扱い方法などに関する説明文、及びフォルダを指定する際の初期位置(参照基点)を設定します。「参照基点」を除く設定内容は、アルバムの新規制作時にアルバム管理データの「収録情報」タブの初期値としてコピーされます。(→4-3-5)

##### [参照] ボタン

参照基点を設定する場合に押してください。フォルダ選択ウィンドウが開き設定の変更を受け付けます。(→4-1-1)



## 4-2-2 ページ構成タブ

このタブではアルバムの標準的なページ構成を設定します。

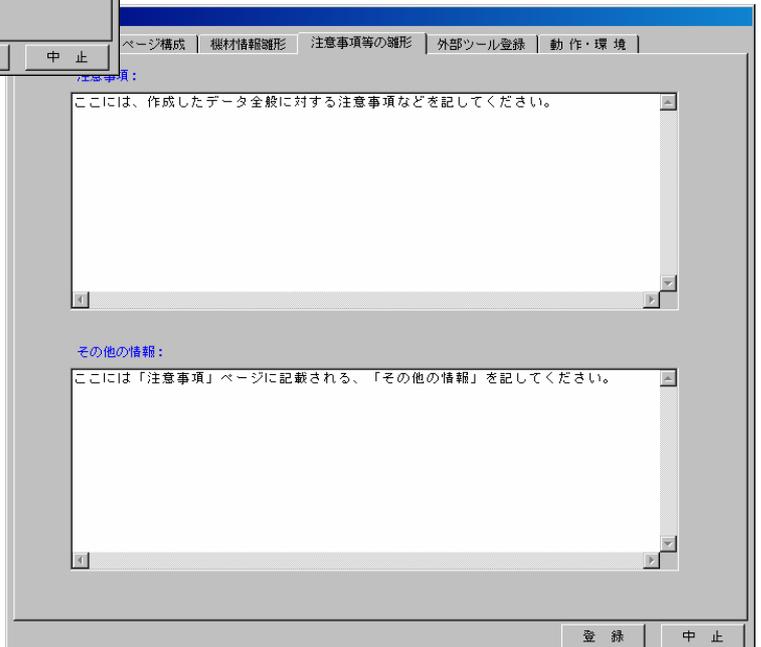
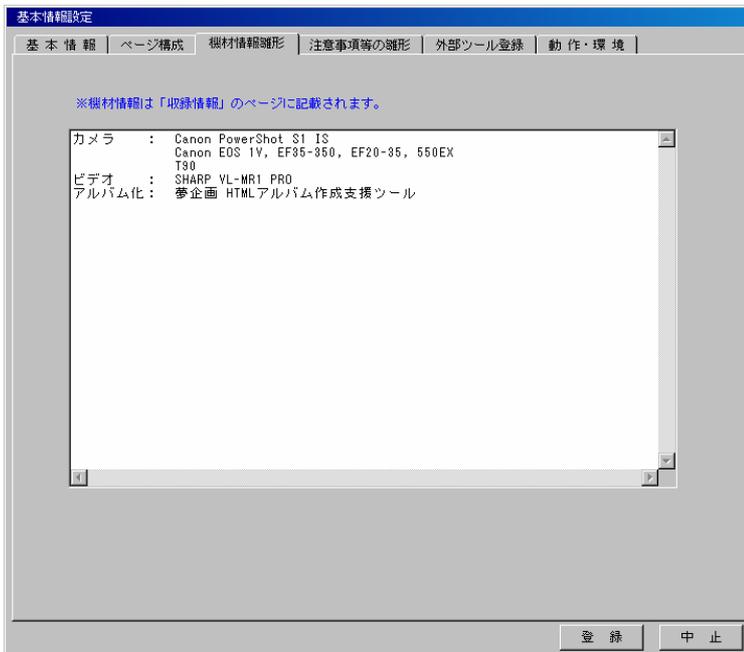
「表紙・背景色設定」枠の内容はアルバムの新規制作時にアルバム管理データの「表紙」タブの初期値としてコピーされます。(→4-3-2) その他の設定は「構成」タブの各項目の初期値としてコピーされます。

(→4-3-1)



## 4-2-3 初期ページ雛形、機材情報雛形、注意事項等の雛形

これらのタブの内容は、アルバムの新規制作時にアルバム管理データの各タブの初期値としてコピーされます。



#### 4-2-4 外部ツール登録

ここでは写真やビデオの編集など、専用のツールとしてよく使用するソフトウェアを登録します。

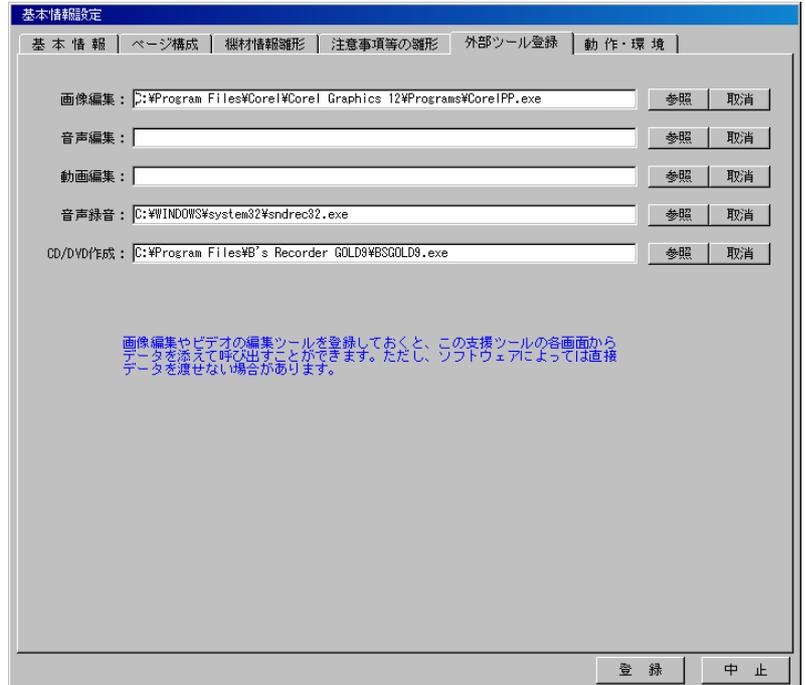
ここに登録があると、アルバム生成情報の編集画面で必要に応じて各ソフトウェアを起動させることができます。

##### [参照] ボタン

各ソフトウェアを登録する際に押してください。ファイル選択ウィンドウ（4-4-1）が表示されますので、目的の実行ファイルを指定します。

##### [取消] ボタン

各設定枠をクリア（登録取消）します。



#### 4-2-5 動作・環境の設定

##### — 再生ツール —

Windows の標準環境では再生できないファイルも RealPlayer や QuickTime 等では再生できる場合があります。インストールされているツールがあればチェックを付けることで各設定画面上で再生可能になる場合もあります。

##### 注意！

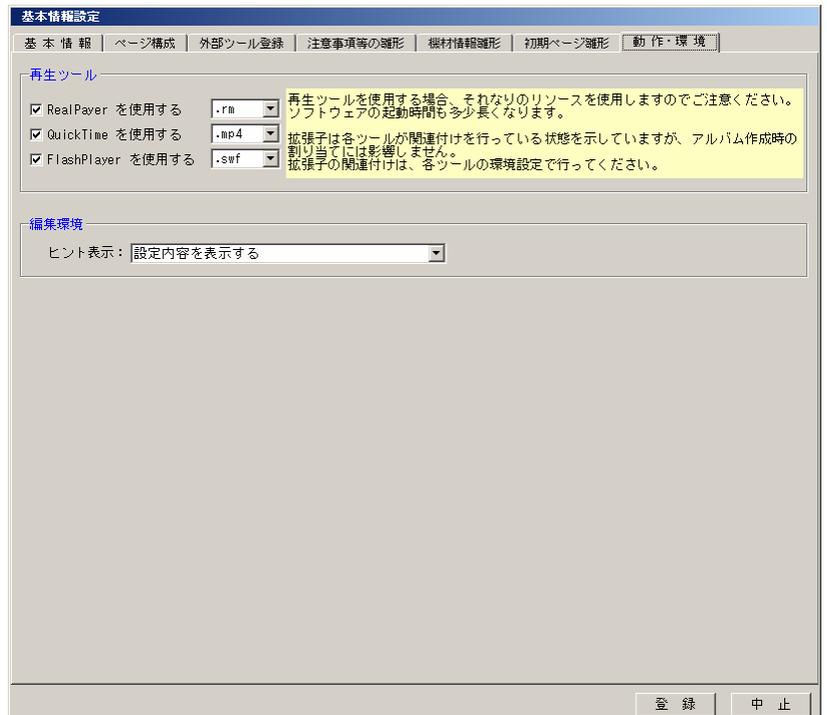
各ツールの動作確認は開発時点での最新バージョンで行っています。よって各ツールのバージョンによっては動作しない場合があります。

RealPlayer : Ver. 15. xx

QuickTime : Ver. 7. xx

FlashPlayer: Ver. 11. xx

また、各ツールの関連付けを変更した場合は、必ずこのタブにて所望の拡張子がリスト上にある事を確認してください。



##### — ヒント表示 —

編集画面上の入力枠にマウスカーソルを移動させたときに表示されるヒント表示の内容を設定します。

### 4-3 アルバム管理データの編集

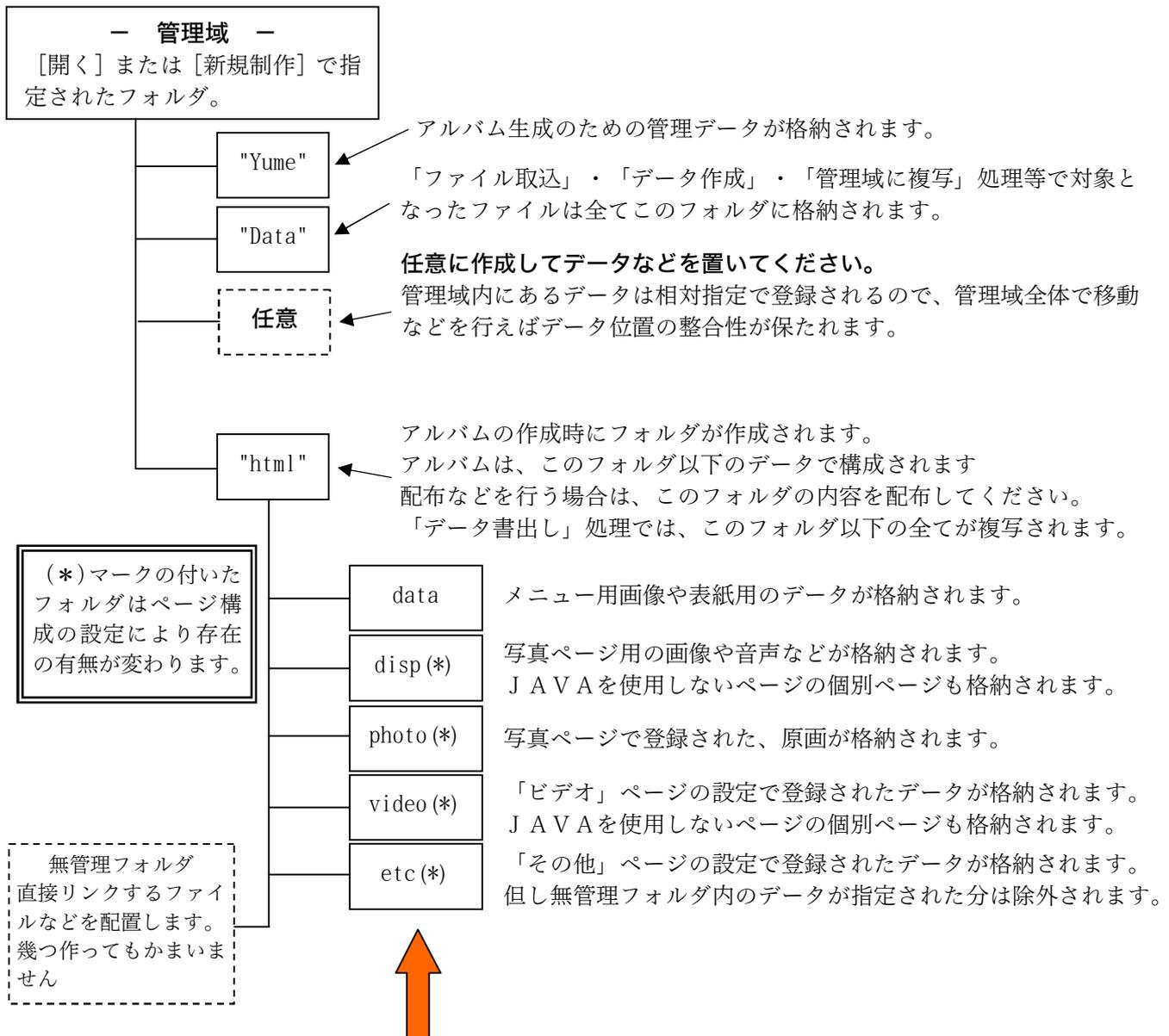
メインメニューの「開く」または「新規制作」で管理データが正常に読み込まれると、各項目の編集作業やアルバムの生成が可能になります。

アルバムデータに関するフォルダ構成は以下のようになります。

「管理域」内に置かれたデータを主対象（各ページのデータとして登録）とした場合は管理域からの相対位置で登録されますので、管理域毎データを移動させれば登録内容とデータ位置との整合性が保てます。

よって登録対象とするデータは、出来るだけ管理域内に置くことをおすすめします。

リスト登録後に管理域に複写する機能もありますので、有効に活用してください。



これらのフォルダとhtml内のファイルはアルバム構築時に毎回削除し再度作り直します。

これらのフォルダ及びhtmlフォルダ内（無管理フォルダを除く）に必要なファイルを直接入れることは避けてください。

またこれらのフォルダ内のファイルをアルバムのデータとして登録することは出来ません。

※アルバムのページからリンクするファイル（アルバム編集時にリスト登録ではなくコメント内から直接リンクするファイル）などは、このフォルダと同列に新たなフォルダ（無管理フォルダ）を作成しその中に配置してください。

### 4-3-1 構成タブ

このタブは、アルバムのページ構成の設定と実際にアルバムを生成する機能を有します。

#### ◎「アルバムの構成」枠の設定 ==

##### [写真ページ] チェック

写真（静止画）のページを作成する場合にチェックを付けます。

##### [初期ページ内容] 選択

写真やビデオのページに切替えた場合に最初に表示する内容を指定します。

「カスタム」が選択された場合は「初期ページ」タブ内で設定された内容が表示されます。

##### [画像の配置] 選択

画像を表示する位置を指定します。

「自動」を指定した場合は画像の長手方向により「上」または「左」に配置されます。

##### [画像の長辺] 入力

写真ページに表示する画像の長辺（ドット数）を設定します。原画像のサイズがこの設定以下の場合、実際のサイズで表示されます。原画像のサイズがこの設定より大きい場合は、長辺をこの設定値に合わせた縮小が行われます。

通常は300～600が適当です。想定する閲覧環境を考慮して設定してください。

設定は200～900に制限されます。

##### [自動表示] チェック , 入力

チェックを付けた場合、アルバムの写真ページに「自動表示」のボタンが付加され、このボタンをクリックすることにより、画像を自動で順次表示させることが出来ます。

(JavaScript が有効の場合のみ実行可) チェックボックスの右の入力枠には「自動表示」の画像切替間隔を秒単位で設定します。この間隔は、画像切替間隔の最短時間です。画像に対して音声を設定されている場合は、その再生が終了するまで次の画像には切り替わりません。

設定は30以下に制限されています。

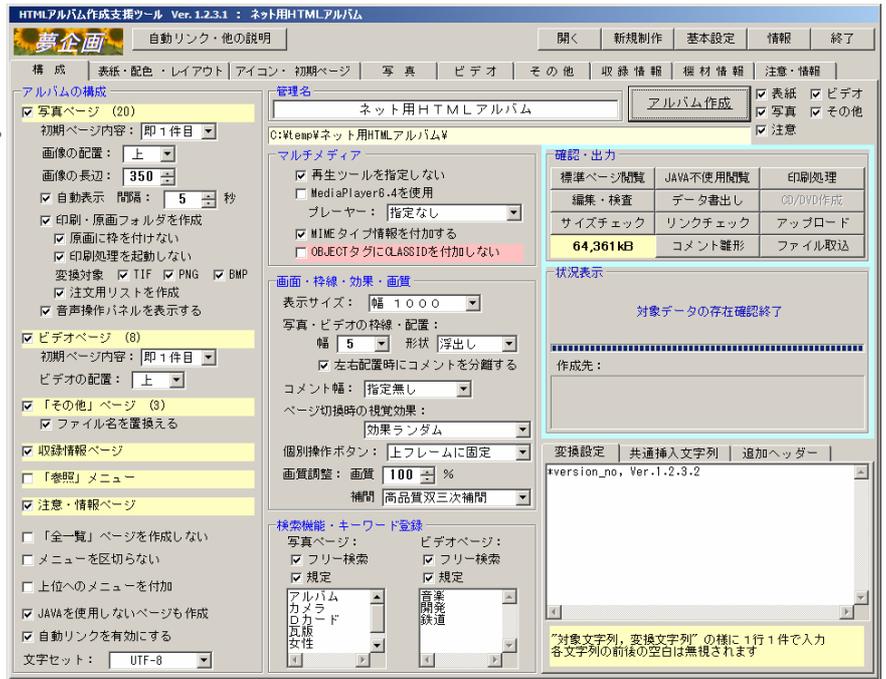
##### [印刷・原画フォルダを作成] チェック

写真ページで表示する画像は、画面上で表示するためにサイズや解像度、形式などが加工されています。

このチェックを付けると、アルバムとして直接の表示は行いませんが、特定のフォルダが作成され、そこに原画データがコピーされます。また個別ページにて「原画表示」のボタンが付加されます。

##### [原画に枠を付けない] チェック

JavaScript 使用のページから原画像を表示する場合にHTMLで構成せずに画像ファイルのみをブラウザに渡す様にします。通常は画像に枠を付けますが、大きな画像の場合画面からはみ出す場合があります。枠を付けない場合



ユーザーの設定により画面に納まるサイズに調整して表示される場合があります。

##### [印刷処理を起動しない] チェック

JavaScript 使用のページから原画像を表示する場合に印刷処理を起動しないようにします。通常は印刷画像を表示すると印刷処理のパネルが自動的に起動します。

##### [TIF] [PNG] [BMP] チェック

印刷・原画フォルダに格納する原画像がTIF・PNG・BMP形式の場合、チェックされた形式の画像をJPEG形式の画像に変換して格納します。これはブラウザによってはこれらの画像を表示できない場合があるためです。

##### [注文用リストを作成] チェック

写真プリントを依頼する際に利用できるリストページを作成します。

##### [音声操作パネルを表示する] チェック

音声を設定されている場合、ページ上に再生ツールの操作パネルを表示します。

(パネルの表示はOBJECTタグにて再生された場合に限りません。またQuickTimeの再生ではパネルは表示されません。)

##### [ビデオページ] チェック

ビデオ（動画）のページを作成する場合にチェックを付けます。

##### [ビデオの配置] 選択

ビデオを再生する位置を指定します。

##### [「その他」ページ] チェック

写真ページやビデオのページに含まないデータ用のページを作成する場合にチェックを付けます。

この設定で作成されるページは特殊な扱いのページとなります。(→4-3-5)

#### [ファイル名を置換える] チェック

「その他」ページの設定で登録されたデータは通常ファイル名を変えずにアルバムに収録されます。このチェックを付ける事でこれを写真やビデオページと同じ様にファイル名を番号に置き換えて収録します。(※html フォルダ内にあるファイルは置き換え対象から除外されます。)

#### [収録情報ページ] チェック

収録情報のページを作成する場合にチェックを付けます。

#### [「参照」メニュー] チェック

フォルダを参照するためのメニューを付加する場合にチェックを付けます。

※閲覧するブラウザによってはうまく機能しませんのでご注意ください。またWEB上に公開する場合は基本的に無効にしてください。

#### [注意・情報ページ] チェック

「注意・情報」のページを作成する場合にチェックを付けます。

#### [「全一覧」ページを作成しない] チェック

一覧ページを作成しません。

#### [メニューを区切らない] チェック

常時表示のメニュー及び縮小画像列のフレーム区切りを表示しないようにします。

#### [上位へのメニューを付加] チェック

ナビゲーションメニューの下に、上位のインデックスへのリンクを設定した「上位メニューへ」の文字を配置します。サイトの一部にこのアルバムを使用する場合などにチェックを付けて生成し、その後所望のリンク先へ修正してください。初期の設定では「../index.htm」が設定されています。

#### [Java を使用しないページも作成] チェック

JavaScript を使用しないページの作成も行う場合にチェックを付けます。

本ツールで作成されるページはJavaScript を使用したものが基本となります。JavaScript を使用しないページへの移動は、表紙ページの閲覧に使用しているブラウザがJavaScript をサポートしてない場合に有効となります。詳しくは「JavaScript を使用しないページについて」(→5-5)を参照してください。

#### [自動リンクを有効にする] チェック

コメント内にリンクを示す文字列が現れた場合、一連の文字列に対して自動的にリンクを設定します。

※リンク情報として“¥”記号および半角空白文字は使用できません。

#### [文字セット] リスト選択

文字コードを指定します。使用している文字を考慮して選択してください。

表現出来ない文字が使われている場合、アルバム生成時にエラーで処理中止となる事があります。またエラーも無く文

字不明のまま生成される場合もありますのでご注意ください。

#### ◎「管理名」枠の設定 (入力) =====

アルバム全体を示す名称を設定します。

ここで設定した内容は、メインメニューの「開く」で表示されるリストに反映します。

#### ◎「アルバム作成」ボタンの操作 =====

##### [アルバム作成] (「処理中止」) ボタン

このボタンをクリックすると、最初に現在の設定内容が整理・保存されますので、ある程度編集等を行った場合は適宜このボタンでデータの保存を行ってください。

(※写真やビデオページでリスト上に画像を表示する様に設定している場合は、通常の画像無しの状態に戻されます。)

実際の処理が始まる前にアルバムデータを書き出すフォルダの内容を全て削除するため、その確認の問い合わせメッセージが表示されます。また他のソフトウェアが同フォルダ内のファイルを使用中の場合、処理が続行できませんのでご注意ください。

作成処理中でも他の設定などを行うことが出来ますが、処理に支障をきたす恐れがありますので、作成処理中は出来るだけ設定変更などは行わないでください。

作業が開始されるとボタンの名称が「処理中止」に変わります。

※ボタン横のチェックボックスで処理対象を指定すると不要な処理を省くことが出来ます。リスト内の一部だけを変更した場合などに活用してください。

通常は全てチェックすることをおすすめします。

#### ◎「マルチメディア」枠の設定 =====

※再生ツールの割り当てに関しては、「データ仕様・その他資料」の項を参照してください。

##### [MediaPlayer6.4を使用] チェック

Windows Media Player が割り当てられた場合にバージョン6.4用のタグを生成します。

##### [再生ツールを指定しない] チェック

音声や動画再生のためのソフトウェアを指定しません。通常EMBEDタグにファイル名のみを指定した形で構成されます。

##### [プレーヤー] 選択

既定で割り当てていないファイルの拡張子に対するプレーヤーを指定します。(※「再生ツールを指定しない」にチェックが入っている場合は無効です。)

##### [MIMEタイプ情報を付加する] チェック

再生ツールを指定しないEMBEDタグ内にファイルに対するMIME情報を付加します。

#### [OBJECT タグに CLASSID を付加しない] チェック

通常は再生ツールを指定するための CLASSID 情報が付加されますが、これを付加しません。

### ◎ 「画面・枠線・効果・画質」 枠の設定 =====

#### [表示サイズ] リスト選択

ブラウザのサイズを予め指定します。

この機能は表紙ページの閲覧開始時に設定を試みます。

幅を指定した場合の高さは、実画面の高さ-20 に設定されます。また実画面が指定の幅より小さい場合は実画面の幅に設定されます。※環境により機能しない場合があります。

#### [写真・ビデオの枠線・配置]

「幅」選択 「形状」選択

「左右配置時にコメントを分離する」チェック

表紙画像及び写真・ビデオページで個別に表示するデータの囲み線の仕様、及び個別ページでデータを左または右に配置した場合のコメントの表示方法を指定します。枠線の形状に関しては閲覧環境により所望の状態にならない場合があります。

「左右配置時にコメントを分離する」の項目にチェックが入ってない場合は、写真やビデオの枠に沿ってコメントは回り込みを行いますが、この項目にチェックが入っている場合は、回り込みは行われません。

#### [コメント幅] リスト選択

写真やビデオの配置を「上」または「下」にした場合のコメントの表示幅を指定します。

「指定無し」を選択すると実際のコメント内容に応じた幅になりますが、幅指定の有無に関わらず、実際の表示幅はブラウザの表示状態に左右されますので、どうしてもレイアウトを固定したい場合は「\$Commentonly」コマンド (→5-9) などでページ全体を独自に作成するなどをご検討下さい。

#### [切換時の視覚効果] リスト選択

アルバムのページ切換時の視覚効果を設定します。

※この視覚効果は、閲覧に使用するブラウザ固有の機能に依存しています。Microsoft Internet Explorer 以外のブラウザでは効果が期待できません。

#### [個別操作ボタン] リスト選択

写真・ビデオページで表示される個別操作ボタン(「次へ」「前へ」など)の配置方法を指定します。

この機能は JavaScript 使用のページのものに適用されます。

#### [画質]

メニュー用縮小画像を含む表示用の全ての静止画像の画質に影響します。

表示用の J P E G 画像を生成する際の画質を設定します。100 (無圧縮) ~ 5 (%) の間で設定します。

#### [補間] リスト選択

メニュー用縮小画像を含む、表示用の全ての静止画像の画質に影響します。

リストの並び順に理論的な画質が向上しますが、最適な画像とは限りませんので、アルバムの生成結果を見て調整してください。

※編集時に表示される画質には影響しません。

画質を高くするとアルバム構築時間も多少長くなります。

### ◎ 「検索機能・キーワード登録」 枠の設定 =====

検索機能は JavaScript 使用ページのみで機能します。

コメントとタイトル内の文字列が検索対象となります。

※注意! アルバム作成時に自動的に付加された内容も検索対象になります。また全角・半角文字は区別されますので注意が必要です。

#### [フリー検索] チェック

OR・AND 検索機能を実装します。(半角スペース区切り)

#### [規定] チェック

あらかじめ設定されたキーワードで検索する機能を実装します。キーワードはこのチェックボックスの下にある入力枠内に 1 行 1 単語で列記します。

### ◎ 「確認・出力」 枠内の操作 =====

#### [サイズチェック] ボタン

アルバムの総容量をレポートします。CDやDVDなどに書き込む場合の目安としてください。表示される値は実際に占有しているディスク領域のサイズとは異なります。実際に必要な領域はメディア(HD, CD, DVDなど)の管理仕様により異なりますので注意してください。アルバム生成が終了すると自動的にレポートされます。

※容量は html フォルダ内に置かれたすべてのファイルが対象です。

#### [標準ページ閲覧] [JAVA 不使用閲覧] ボタン

ブラウザでアルバムを閲覧します。※OSに標準のブラウザとして登録がない場合や「.htm」の拡張子とブラウザの関連付けが行われてない場合は表示されません。

#### [CD/DVD 作成] ボタン

基本設定の「外部ツール登録」(→4-2-5)で、「CD/DVD 作成ツール」が設定されている場合に有効になります。このボタンをクリックすることで、登録されているソフトウェアが起動されます。

OSの設定でCD書き込みを有効にしている場合は「データ書出し」ボタンでもCD作成が可能です。

#### [データ書出し] ボタン

アルバムデータのみを他の領域にコピーします。

ネットワークドライブには対応していません。

CD等のメディアに直接書き込むことは出来ませんが、OSの設定でCD書き込みを有効にしている場合は書込準備デ

ータとして登録することが出来ます。

#### [編集・検査] ボタン

作成したアルバムデータの簡易編集と、タグの組み合わせを簡易チェックするためのウィンドウを開きます。

ちょっとした修正などにご利用ください。詳しくは「簡易編集・簡易検査」(→4-4-3)を参照してください。

#### [リンクチェック] ボタン

作成したアルバムデータを対象にリンク切れの簡易チェックを行うウィンドウを開きます。(→4-4-5)

※リンクチェックは設定されたデータではなく作成されたアルバムのコメント部分を主な検査対象とします。

#### [印刷処理] ボタン

写真・ビデオ・その他の各リストの内容を一覧表形式や展示形式で印刷します。詳しくは「印刷処理」(→4-4-7)を参照してください。

#### [アップロード] ボタン

アルバムデータをFTPサイトへ転送するウィンドウが開きます。同ウィンドウの「転送先をクリアする」にチェックを付けると指定したディレクトリー以下の全てを削除しますのでご注意ください。詳しくは「アップロード」(→4-4-8)を参照してください。

#### [ファイル取込] ボタン

管理領域外にあるデータを“Data”フォルダにコピーするためのウィンドウを開きます。(→4-4-6)

デジカメなどのメモリーから複写する場合などにご利用下さい。

#### [コメント雛形] ボタン

写真・ビデオ・その他の各コメント部分で使用する雛形を一括して編集することが出来ます。

#### ◎「変換設定」タブの設定 =====

設定は“変換対象文字列”，“変換文字列”の形式で1行単位で行います。区切りの“,”(カンマ)は半角文字を使用してください。

変換はアルバムのタイトルとサブタイトル、及びすべてのコメント内容が対象となり自動リンク等の処理前に適用さ

れます。

変換対象文字が半角英文字の場合は大文字小文字を区別しません。

#### ◎「共通挿入文字列」タブの設定 =====

ここで設定された文字列は、指定されたページの指定の位置に挿入されます。変換設定や自動リンクなどの適用は受けません。

共通に表示したい文字列や、アクセス解析のためのタグなどを設定してください。

#### ◎「追加ヘッダー」タブの設定 =====

<head> ~ </head> タグ間に追加されます。

独自のスクリプトやメタタグなどを挿入する場合に設定してください。

変換設定や自動リンクの影響は受けません。

#### [設定を適用しない] チェック

追加ヘッダーの設定を適用しない場合にチェックをつけます。

## 4-3-2 表紙・配色・レイアウトタブ

ここでは、アルバムの表紙と各ページに共通する文字色や背景等を設定します。

表紙には画像・音声・タイトル・コメント（サブタイトル）を各々1つずつ含むことができます。

※画像や音声ファイルの入力枠は直接文字を入力することが出来ません。もし、既に設定されているファイルが存在しない場合は各枠が赤く表示されます。またファイルが存在していても表示や再生が出来ないデータの場合は黄色い表示になります。

### 【参照】ボタン

画像・音声の設定を行う場合にこのボタンを押してファイル選択ウィンドウを開きます。（→4-4-1）

### 【編集】ボタン

基本設定の「外部ツール登録（→4-2-5）」で、画像編集ツールや音声編集ツールが設定されていて、各ファイルが編集可能な状態の場合に有効になります。

このボタンをクリックすることで、設定された編集のためのソフトウェアが起動します。

### 【画像の長辺】入力（表紙画像・背景画像）

表紙や背景に使用する画像の長辺をドット単位で指定します。

設定は表紙画像が200～1000に、背景画像は20～1500に制限されます。

※背景画像がGIFの場合、この設定は無効になります。

GIF形式画像の場合、そのまま背景画像として使用されます

### 【取消】ボタン

画像や音声ファイルの設定を取り消します。

### 【再生】ボタン（[外再生]）

音声ファイルが標準で再生可能な場合、このボタンをクリックすることで、設定されている音声ファイルが再生されます。標準で再生出来ない場合は[外再生]ボタンとなり、ファイルを関連付けられたアプリケーションに渡すことで再生を試みます。

### 【停止】ボタン

音声ファイルの再生を停止します。

### 【録音】ボタン

基本設定の「外部ツール登録」（→4-2-5）で、録音ツールが設定されている場合に有効になります。



このボタンをクリックすることで、設定された録音のためのソフトウェアが起動します。

### 【音声操作パネルを表示】チェック

音声を設定している場合、ページ内に操作パネルを表示します。（OBJECTタグから起動された場合に限りです。また、IEに特化した場合はパネルの表示はありません。）

### 【Vol】

音声再生のボリューム。

※アルバム収録時の音声には影響しません。

## ◎「ナビメニュー」枠の設定 =====

### 【配置】選択

ナビゲート用のメニュー位置を指定します。

「自動」を指定した場合は、画像の長手方向を判断し画像に対して「右」または「下」を自動的に決定します。但し「メニューを常時表示する」がチェックされている場合は、「上」または「右」に配置されます。

### 【メニューを常時表示】チェック

すべてのページにメニュー用のフレームが追加され、ナビゲート用のメニューを常時表示します。

### 【選択肢一覧】ボタン

メニューに使用する選択肢の一覧を表示します。

独自のメニューボタンを作成することも可能です。

詳しくは「メニューの選択と作成」（→4-4-4）を参照してください。

### 【基本】，【メニュー】選択（リンク効果）

リンク設定された部分にマウスカーソルが置かれた場合の変化仕様を指定します。

「メニュー」で指定した動作は縮小画像列及び画像を使ったナビメニューに適用されます。「基本」は全てのリンク設定部分に適用されます。

#### ◎「縮小画像列」枠の設定 =====

##### 【配置】 選択

アルバムの写真ページやビデオページでは画面を2分割し、個々の画像あるいはビデオを選択するためのメニュー枠と、実際の画像やビデオを表示するための表示枠を設けます。

ここでは、メニュー枠の配置方法を指定します。

##### 【画像の長辺】 入力

写真ページやビデオページのメニュー枠内に表示する画像の長辺の長さをドット単位で指定します。通常は110～150が適当です。設定は80～200に制限されます。

##### 【フレームとの距離】 入力

写真ページやビデオページのメニュー枠の大きさを決定する要素となります。メニュー内に表示される画像とメニュー枠との間隔をドット単位で指定します。

通常は5程度が適当です。設定は3～20に制限されます。

##### 【タイトルを直接表示する】 チェック

写真ページやビデオページでは、メニュー枠内の縮小画像に対してタイトルを設定することができます。このタイトルをメニュー枠内（画像の下）に直接表示する場合に、チェックを付けます。チェックを外した場合は、画像にマウスカーソルがあるときのみタイトルが表示されます。

※直接表示する場合は文字数を考慮してください。

##### 【切り換え時に並べ替える】 チェック

写真ページやビデオページに切り換えたタイミングで縮小画像列をランダムに並び替えます。（JavaScript 使用のページのみ有効）

#### ◎「タイトル」「サブタイトル」枠の設定 =====

タイトルやサブタイトルは表示されている枠に直接入力できます。

サブタイトルにはHTMLタグなどを含めることができます。（→5-9）枠内をダブルクリックする事で別窓編集も可能です。

##### 【上】、【下】 選択（配置）

画像に対するタイトルの位置を指定します。

サブタイトルはタイトルの下に配置されます。

##### 【フォント】 ボタン

フォントを設定します。このボタンをクリックすることでフォント選択のためのウインドウが表示されます。（→

4-4-2）

※日本語であれば「MS 明朝」「MS ゴシック」「MS P 明朝」「MS P ゴシック」の何れかを選択してください。

他のフォントも選択可能ですが、実際のアルバム閲覧者のコンピュータ上に指定のフォントがなければ期待通りの表示はされません。詳しくは「フォントと色の選択」（→4-4-2）の項を参照してください。

但し、以下の「画像に変換」チェックボックスにチェックを付けた場合はある程度自由な選択が可能になります。

##### 【文字色】 ボタン

文字色を設定します。このボタンをクリックすることで色選択のためのウインドウが表示されます。（→4-4-2）

##### 【画像に変換】 チェック

タイトルやサブタイトルを画像に変換して表示します。

画像に変換するのでフォント選択の自由度は上がりますが、タグの挿入や自動リンクの適用は出来なくなります。

画像に変換する場合、「透過色」と余白幅の指定が可能になります。（※画像はPNG形式で作成されますが、ブラウザにより透過色指定がうまく機能しない場合があります）

#### ◎「コメント色・サイズ」枠の設定 =====

各項目の右側にある「文字」と書かれたボタンをクリックすると、色選択用のウインドウが開いて色を指定できます。（→4-4-2）

指定された色は同ボタン上の文字色に反映されます。また同ボタンの背景色は表紙の背景色が反映されています。

##### 【非選択時】 【選択時】 ボタン

リンクの設定がされた部分の文字色を設定します。

##### 【一般文字色】 ボタン

タイトルやリンク文字色以外の文字色を設定します。

##### 【文字サイズ】 リスト選択

通常コメントの文字サイズを選択設定します。

#### ◎「全ページの背景」枠の設定 =====

##### 【背景色】 ボタン

アルバムの全てのページの背景色を指定します。このボタンをクリックすることで色選択のためのウインドウが表示されます。（→4-4-2）

##### 【背景画像】 ボタン

全ページに共通する背景画像を設定します。

ファイル選択ウインドウが表示されます。

背景画像の適用先は同枠内のチェックボックスにて指定します。

GIF形式の画像はなにも加工せずに適用されます。

よって透過やアニメーションを施した画像の使用が可能です。

G I F以外の画像はJ P E G画像に変換されます。また「画像の長辺」で設定された値を超えている場合は設定値に合うように縮小されます。（拡大はされません）

#### [背景画像取消] ボタン

背景画像の設定を取り消します。

[メニュー] [表紙] [写真] [ビデオ] [その他]

[収録情報] [注意・情報] [一覧] [小画像列]

チェックボックス

背景画像の適用先を指定します。

[一覧] は写真やビデオページの一覧形式ページ。

[小画像列] は写真やビデオページの縮小画像列を示します。

[メニュー] はナビゲーションメニューを常時表示する領域を指します。

### 4-3-3 写真タブ

ここでは、写真ページの構成を設定します。

#### 注意事項

- 1 編集ウインドウで表示出来ない画像データは、リストには登録できませんがアルバム作成時にエラーとなり処理を中断します。
- 2 編集ウインドウで再生出来る音声のデータ形式は限られていますが、再生できないデータであってもアルバムデータとしては正常に生成されます。  
但し再生出来ないデータの場合は再生時間の情報が取得出来ないため「再生時間」の項目を直接入力するか、アルバム構築後にHTMLファイルを直接編集してください。(→5-7)
- 3 アルバム上の音声は、再生する環境に大きく依存します。
- 4 データの登録可能数は1000です。

#### 以上

アルバムの写真ページで表示される画像はメニュー用縮小画像・表示用画像共に、指定された原画像から生成され、dispフォルダに格納されます。

アルバムの収録内容として原画像が必要な場合は、「構成」タブ(→4-3-1)の「印刷・原画用フォルダ」にチェックを付けることで、photoフォルダに原画像が格納されます。

画像をリストに追加する場合は、操作メニューによる追加の他に、ドラッグ&ドロップによる追加も可能です。(複数可)

※登録に際して重複登録のチェックが行われます。

※設定した画像や音声ファイルが存在しない場合は各枠が赤く表示されます。またファイルが存在していても表示や再生が出来ないデータの場合は黄色い表示になります。

#### リスト操作

##### [追加] ボタン

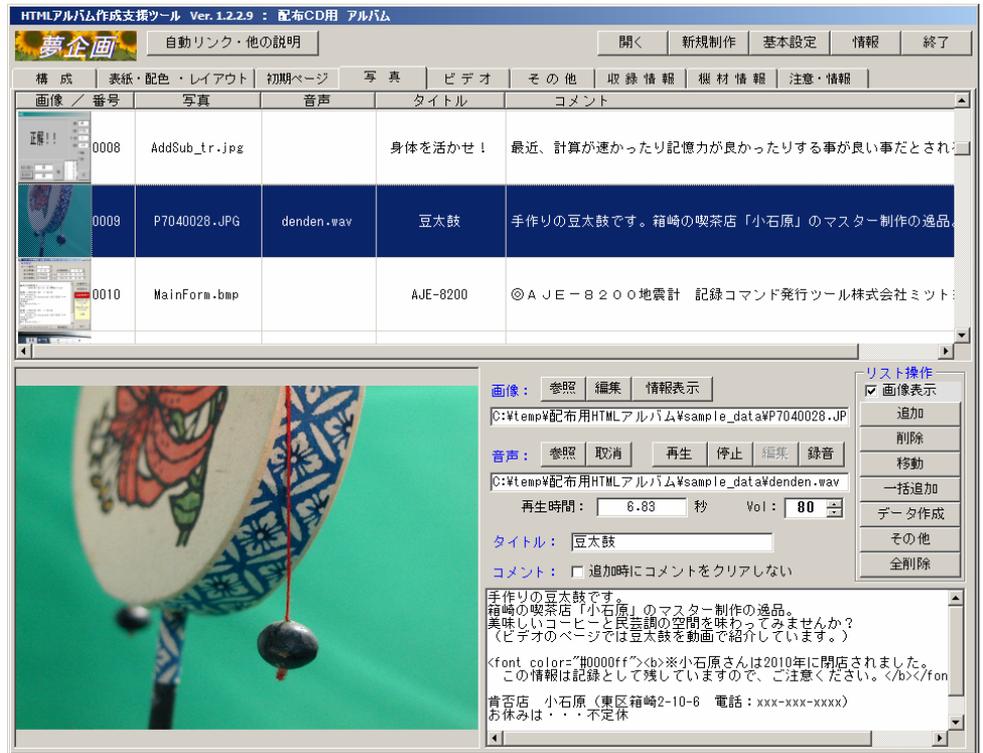
1件分の追加登録を行います。  
このボタンをクリックすると画像ファイルの選択ウインドウが開きます。(→4-4-1)

##### [削除] ボタン

リスト上で選択されているデータを、リスト上から削除します。

##### [移動] ボタン

リスト上で選択されているデータを、他の位置に移動します。(移動先に指定した位置の前に入ります。)



##### [一括追加] ボタン

フォルダ内の画像データを一括登録します。  
ファイル選択ウインドウで任意のフォルダを開き「OK」ボタンを押すと、そのフォルダ内にある規定の拡張子(→5-1-1)を持つファイルが全て登録されます。アルバムのメニュー上で表示する順番がある場合は、1件ずつ登録してください。

##### [データ作成] ボタン

画像・音声・コメントを入力するための別ウインドウを開きます。このウインドウでは定期的なデータの取込なども行えます。詳しくは「データ作成ウインドウ」(→4-4-10)を参照してください。

##### [その他] ボタン

データの整列や変換(インポート/エクスポート)などに関する機能呼び出します。(→4-4-9)

##### [全削除] ボタン

登録情報を全て削除します。

##### [画像表示] チェック

登録された画像の縮小版をリスト上に表示します。  
画像表示処理中にリスト操作(削除・移動・整列)を行うと表示処理は中止されます。また「構成タブ」にてアルバム作成処理を実行すると画像非表示状態に戻ります。

#### その他の操作

##### [参照] ボタン

リスト上の選択された項目に対する画像や音声ファイルを指定します。このボタンをクリックすることでファイル選択用のウインドウが開きます。(→4-4-1)

#### [取消] ボタン

音声ファイルの設定を取り消します。

#### [編集] ボタン

基本設定の「外部ツール登録」(→4-2-5)で、画像編集ツールや音声編集ツールが設定されていて、各ファイルが編集可能な場合に有効になります。

このボタンをクリックすることで、設定された編集のためのソフトウェアが起動します。

#### [情報表示] ボタン

画像に関する情報を表示します。

Exif等のデータが表示されますが、内容や表示形式に関しては深く考えていませんので参考程度に使用してください。情報表示は下の画面の様になります。

※情報表示ウインドウを終了しないと通常の編集は行えませんので注意してください。

#### [再生] ボタン ( [外再生] )

音声ファイルが再生可能な状態で設定されている場合に有効になります。

このボタンをクリックすることで、現在設定されている音声ファイルが再生されます。

標準で再生できない場合は [外再生] ボタンとなり、このボタンを押すと設定されているファイルをシステム上関連付けられたツールに渡して再生を試みます。

#### [停止] ボタン

音声の再生を止めます。※「外再生」状態では機能しません。

#### [録音] ボタン

基本設定の「外部ツール登録」(→4-2-5)で、録音ツールが設定されている場合に有効になります。

このボタンをクリックすることで、設定された音声録音のためのソフトウェアが起動します。

#### [再生時間] 入力 ※再生出来ない場合のみ入力有効

標準で再生可能な音声データの場合は再生時間が表示されます。再生できないファイルの場合はファイルのプロパティ参照や他のツールで再生して時間情報を取得し、ここに設定して下さい。

#### [Vol]

音声再生のボリューム。

※アルバム収録時の音声には影響しません。

#### [タイトル] 入力

メニュー用の縮小画像に対するタイトルを入力します。

#### [コメント] 入力

アルバム上で画像と共に表示するコメントを入力します。複数行の入力が可能です。

HTMLタグの埋め込みも可能です。(→5-9)

枠内でダブルクリックすることで別窓編集が可能になります。

#### [追加時にコメントをクリアしない] チェック

[追加] ボタンによりリストへの追加登録を行う場合、通常はタイトルとコメントの内容が一旦クリアされます。この項目にチェックを付けるとクリア動作が行われません。

※ただし、「一括追加」ボタンによる追加や、ドラッグ&ドロップによる追加の場合は、各コメントは必ずクリアされます。

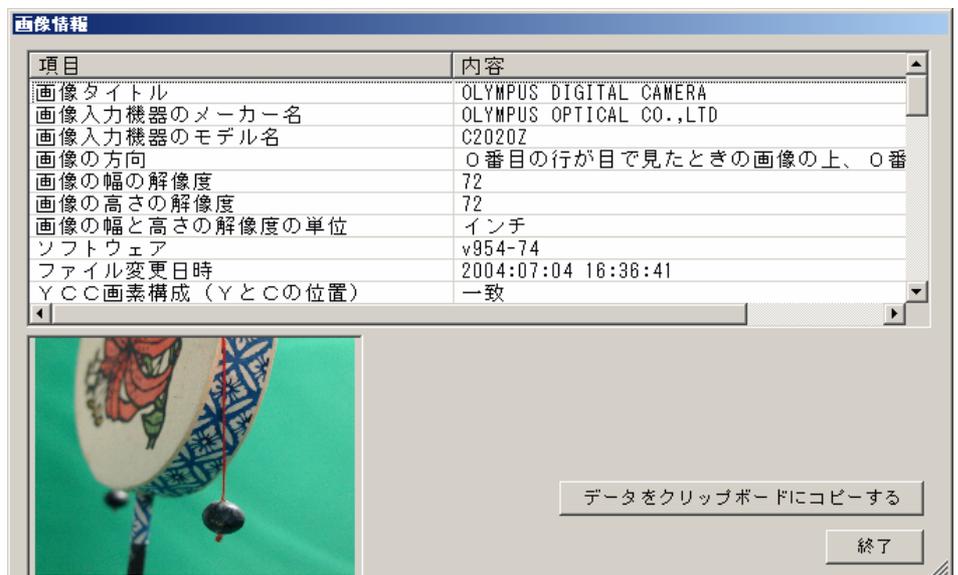
#### 画像情報の表示ウインドウ：

Exif規格に基づく画像情報を簡易表示します。

デジカメ写真などのうまくまとめられた情報は各画像のプロパティを参照してください。

あくまでも簡易表示なので、表示方法や内容は正確ではないかも知れません。

※一部のデータは特殊命令によりコメント内に挿入することが可能です。詳しくは「HTMLタグと特殊な命令」(→5-9)を参照してください。



#### 4-3-4 ビデオタブ

ここではビデオページの構成を設定します。

##### 注意事項

- 1 編集ウィンドウで再生出来るビデオのデータ形式は限られていますが、再生できないビデオであってもフレームサイズ等の問題を除きアルバムとしては正常に生成されます。
- 2 編集時でもアルバム閲覧時でも、ビデオ再生の可否は環境に大きく依存します。
- 3 ビデオファイルはアルバムの video フォルダに格納されます。
- 4 アルバムのビデオページでは、再生するファイルの拡張子に応じてタグを使い分けています。一般的に最適な再生プログラムが明確なファイル（拡張子：.wmv, .mov, .qt, .rm, .swf, .asf, swf）には専用のタグを書き出しますが、その他の拡張子では EMBED タグのみを書き出します。この場合、再生する環境で各拡張子の再生を受け持つプログラムが自動的に起動されることとなりますが、必ず再生出来るとは限りません。また専用のタグで構成されていても環境として対応するソフトウェアがインストールされていない場合や再生ソフトのダウンロードが不可能な場合は再生する事ができません。
- 5 「構成タブ」（→4-3-1）で「Internet Explorer に特化」にチェックを付けてアルバムを生成する場合は、前項4の内容は適用されません。この設定で生成する場合はビデオデータとして Windows で標準的に再生出来るデータ形式を使用してください。
- 6 アルバムではビデオの再生画面用にサイズを指定していますが、アルバムの編集時に再生できないデータ形式のものは画面情報が得られないため縦 375、横 500 のサイズを自動的に設定します。他の値に設定したい場合は、アルバム生成後に個別に編集してください。
- 7 データの登録可能数は 100 です。

以上

ビデオをリストへ追加する場合は、操作メニューによる追加の他に、ドラッグ&ドロップによる追加も可能です。※登録に際して重複登録のチェックが行われます。

ビデオファイルの表示枠は、設定されているファイルが存在しない場合は赤く表示されます。またファイルが存在していても展開や再生が出来ない場合は黄色い表示になります。

##### リスト操作

###### 【追加】ボタン

1 件分の追加登録を行います。



このボタンをクリックすると画像ファイルの選択ウィンドウが開きます。（→4-4-1）

###### 【削除】ボタン

リスト上で選択されているデータを、リスト上から削除します。

###### 【移動】ボタン

リスト上で選択されているデータを、他の位置に移動します。（移動先に指定した位置の前に入ります。）

###### 【一括追加】ボタン

フォルダ内のビデオデータを一括登録します。ファイル選択ウィンドウで任意のフォルダを開き「OK」ボタンを押すと、そのフォルダ内にある規定の拡張子（→5-1-2）を持つファイルが全て登録されます。

###### 【その他】ボタン

データの整理や変換（インポート／エクスポート）などに関する機能を呼び出します。（→4-4-9）

###### 【全削除】ボタン

登録情報を全て削除します。

###### 【画像表示】チェック

登録された静止画像の縮小版をリスト上に表示します。静止画の登録が無い場合はダミーの画像が表示されます。画像表示処理中にリスト操作（削除・移動・整理）を行うと表示処理は中止されます。また「構成タブ」にてアルバム作成処理を実行すると画像非表示状態に戻ります。

##### その他の操作

###### 【参照】ボタン

リスト上の選択された項目に対するビデオファイルやメ

ニュー用画像ファイルを指定します。このボタンをクリックすることでファイル選択用のウィンドウが開きます。(→4-4-1)

メニュー用画像ファイルを指定すると、画像はビデオファイルのあるディレクトリーにビデオファイル名の拡張子を“.jpg”としたファイルとして保存されます。

#### [編集] ボタン

基本設定の「外部ツール登録」(→4-2-5)で、ビデオ編集や画像編集のツールが設定され、ビデオや画像のファイルが存在している場合に有効になります。

このボタンをクリックすることで、設定された編集のためのソフトウェアが起動します。

#### [再生] ボタン

ビデオファイルが再生可能な状態で設定されている場合に有効になります。

このボタンをクリックすることで、現在設定されているビデオファイルが再生されます。

※再生領域下にあるスクロールバーで、再生位置を指定する事ができますので有効に活用してください。

#### [外部再生]

設定されたビデオデータを関連付けられた再生ソフトに渡して再生を試みます。

再生画面は一般的にオリジナルの画面サイズで再生され、この画面の再生領域で再生出来ないファイルでも再生出来る場合があります。

#### [停止] ボタン

ビデオファイルの再生を停止します。

外部で再生されている場合は機能しません。

#### [保存] ボタン

ビデオ再生が可能な場合、現在表示されているフレームの画像を静止画として保存します。

アルバム生成時にはメニュー用の縮小画像として利用されます。

画像はビデオデータのあるフォルダに作成されファイル名はビデオデータの拡張子を“.jpg”に変えたものになります。

※本ソフトウェアでは画像取り込み処理が確立していないため間に合わせ程度の機能となっています。よってパソコンの環境によってはうまく取り込めない場合もあります。うまく取り込めない場合は以下を参考にしてください。

- 1 このボタンの右にある選択肢で取り込み方法を変えて、再度保存処理を行ってみてください。  
選択肢の「直」は現在表示されている画像をそのまま取り込み対象とします。「再」はビデオファイルを別の処理で再度読み込んだ後に取り込みを試みます。  
※選択肢は再生ツールの種類により無効になる場合があります。  
再生時間の長いファイルの再読み込みを行った場合は、

指定のフレーム位置まで移動するのに時間がかかる事があります。この場合、保存を実行した直後にスペースキーを一度押す事で処理時間の制限を解除する事が出来ます。もう一度スペースキーを押すと通常処理に戻ります。

- 2 使用できるビデオメモリーを増やす。  
古いパソコンやコスト重視のパソコンでは使用出来るビデオメモリーを少量に制限している場合があります。この場合、BIOS設定などで使用できるメモリー量を増やしてみてください。16MB以上を推奨します。
- 3 DirectXを最新版にしてみてください。  
本ソフトウェアの開発&確認環境は9cで行っていて、このバージョンで安定して動くと思います。

#### [横] [縦] 入力 ※再生出来ない場合のみ入力有効

ビデオの画面サイズを表示します。

標準で再生出来ない場合は直接入力してください。

サイズ指定が無い場合(0の場合)はアルバム作成時に自動的に横400・縦300が設定されます。

#### [タイトル] 入力

メニュー用の縮小画像に対するタイトルを入力します。

#### [コメント] 入力

アルバム上でビデオ画像と共に表示するコメントを入力します。複数行の入力が可能です。

HTMLタグの埋め込みも可能です。(→5-9)

枠内でダブルクリックすることで別窓編集が可能になります。

#### [追加時にコメントをクリアしない] チェック

[追加] ボタンによりリストへの追加登録を行う場合、通常はタイトル、コメント共に内容が一旦クリアされます。この項目にチェックを付けるとクリア動作が行われません。

※ただし、「一括追加」ボタンによる追加や、ドラッグ&ドロップによる追加の場合は、各コメントは必ずクリアされます。

### 4-3-5 その他タブ

ここでは「その他」のページに掲載するデータを指定します。

#### 注意事項

- 1 アルバム化する場合のファイル名をどのようにするかを指定できます。(→4-3-1)
  - 2 但し規定フォルダ (etc) 以外に格納されたデータのファイル名はそのまま利用されます。
  - 3 データの登録可能数は1000です。
- 以上

「その他」ページは特殊なページで、様々なデータを登録しそれらのファイルへリンクを張った形式のページとして作成されます。

このことはWEBでの公開よりも、様々なソフトウェアで作成したデータを、管理あるいは受け渡すために利用するページとしての利用に適しています。

作成したページをローカルディスクで使用する場合、バージョンなどの条件にもよりますがWindowsとInternet Explorerの組み合わせでは多くの場合ファイルの拡張子によるソフトウェアの自動起動が可能となるため、閲覧するパソコンにアプリケーションプログラムがインストールされていてファイルの拡張子に適切な関連付けがなされているればリンクをクリックすることでファイルを直接閲覧したり編集したりすることが出来るようになります。

この機能はOSやブラウザの機能に大きく依存しますのでご注意ください。

ファイルをリストへ追加する場合は、操作メニューによる追加の他に、ドラッグ&ドロップによる追加も可能です。

※設定されているファイルが存在しない場合は赤く表示されます。

#### リスト操作

##### [追加] ボタン

1件分の追加登録を行います。  
このボタンをクリックするとファイル選択ウィンドウが開きます。(→4-4-1)

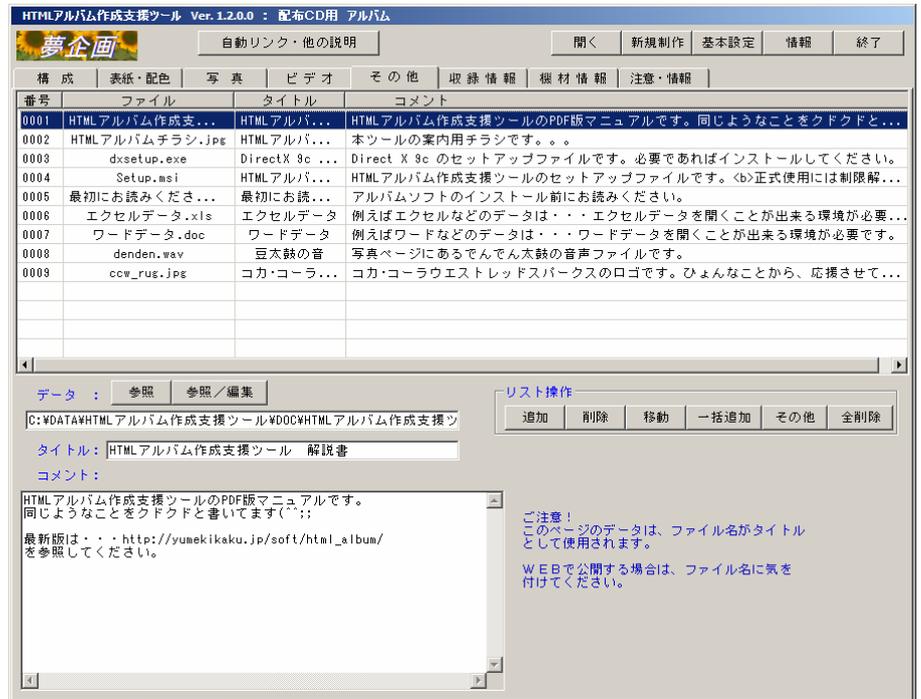
##### [削除] ボタン

リスト上で選択されているデータを、リスト上から削除します。

##### [移動] ボタン

リスト上で選択されているデータを、他の位置に移動します。(移動先に指定した位置の前に入ります。)

##### [一括追加] ボタン



指定したフォルダ内のデータを一括登録します。

ファイル選択ウィンドウで任意のフォルダを開き「OK」ボタンを押すと、そのフォルダ内にある全てのファイルが登録されます。

##### [その他] ボタン

データの整列や変換 (インポート/エクスポート) などに関する機能呼び出します。(→4-4-9)

##### [全削除] ボタン

登録情報を全て削除します。

#### その他の操作

##### [参照] ボタン

リスト上の選択された項目に対するファイルを指定します。このボタンをクリックすることでファイル選択用のウィンドウが開きます。(→4-4-1)

##### [参照/編集] ボタン

Windows に対して選択したファイルを開くように指示します。ファイルの拡張子に対して関連付けられたソフトウェアがあれば自動的に起動します。  
関連付けが無いとか何らかの理由でプログラムの起動が出来なかった場合はメッセージを表示します。

##### [タイトル] 入力

設定したファイルに対するタイトルを入力します。  
「追加」「一括追加」ボタンでファイルを選択するととりえず拡張子を除いたファイル名が自動的に入ります。

##### [コメント] 入力

設定したファイルに対するコメントを入力します。  
HTMLタグの埋め込みも可能です。(→5-9)  
枠内でダブルクリックすることで別窓編集が可能になります。

#### 4-3-6 収録情報タブ

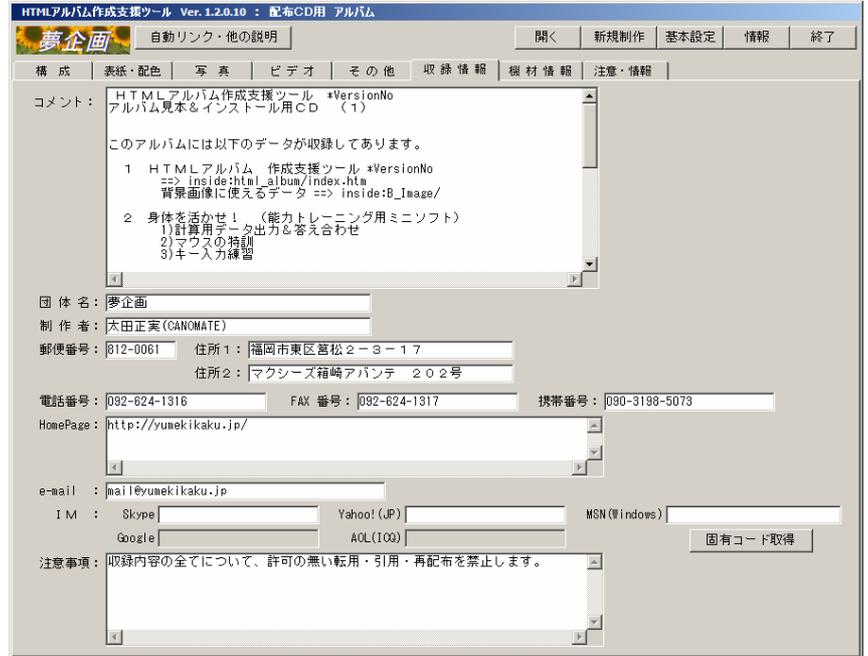
著作権情報やアルバム全体に対する説明などを設定します。

ここで設定された内容は、アルバムの「収録情報」ページに表示されます。

コメントの内容は1行あたり全角換算35文字程度で明確な改行を入れてください。HTMLタグの埋め込みも可能です。(→5-9)

「団体名」～「注意事項」の内容はアルバム新規制作時の初期値として、基本情報に登録しておくことも出来ます。(→4-2)

「HomePage」と「e-mail」の項目はアルバム上でリンクの設定がなされます。

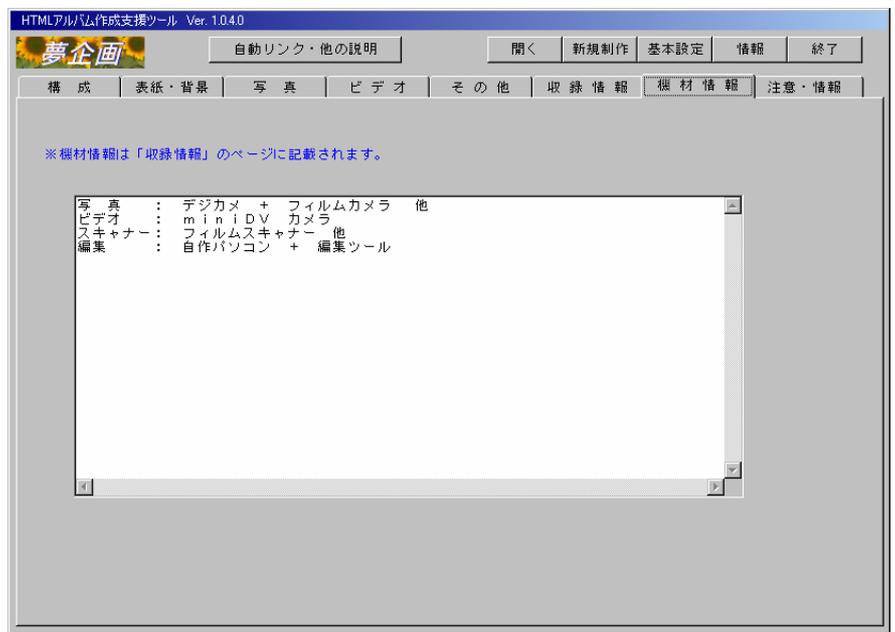


#### 4-3-7 機材情報タブ

撮影に使用した機材などの情報を記入します。

ここで設定された内容は、アルバムの「収録情報」ページに表示されます。

入力の際は1行あたり全角換算35文字程度で明確な改行を入れてください。HTMLタグの埋め込みも可能です。(→5-9)

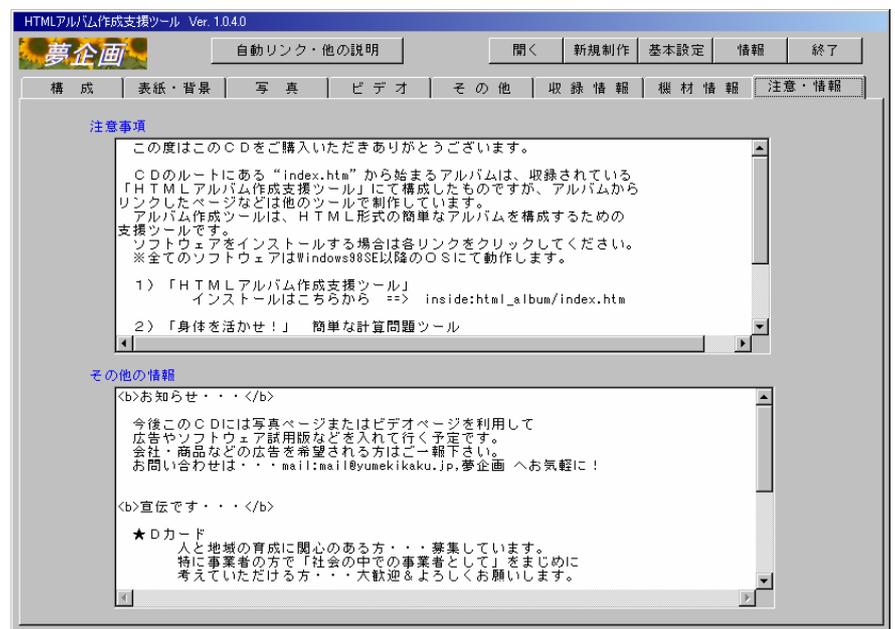


#### 4-3-8 注意・情報タブ

このアルバムの閲覧や使用に関する注意事項などを記入します。

ここで設定された内容は、アルバムの「注意・情報」ページに表示されます。

入力の際は1行あたり全角換算35文字程度で明確な改行を入れてください。HTMLタグの埋め込みも可能です。(→5-9)



## 4-4 その他のウインドウ (機能)

### 4-4-1 ファイル選択

このウインドウは対象とするデータファイルやフォルダを指定するためのウインドウです。外観や機能は使用しているPCの環境により変化します。

※アルバムを作成するフォルダ (...html¥) 内で、本ツールによって作成されるフォルダ内にあるファイルは、管理データの各リストへ登録することは出来ません。

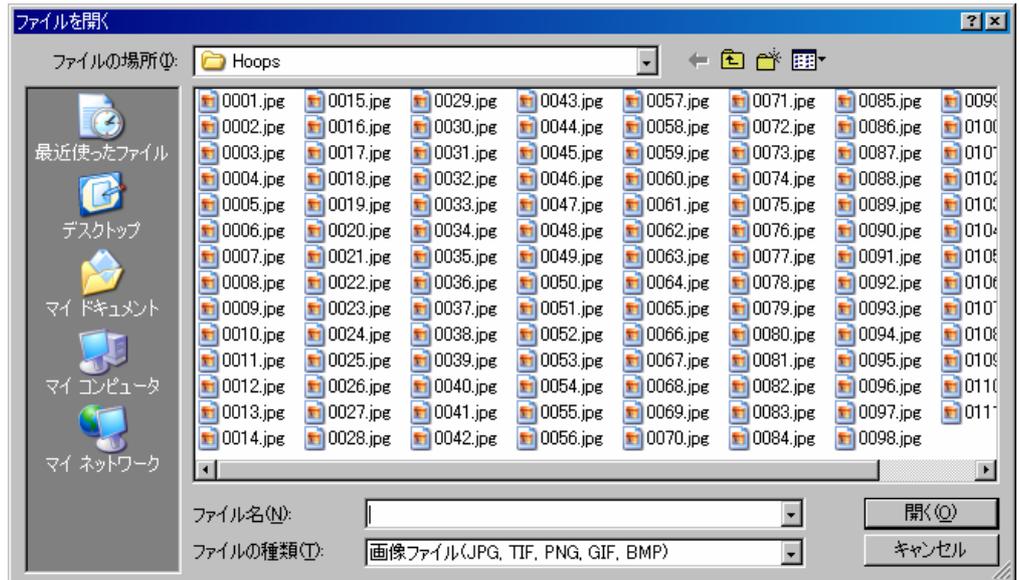
このウインドウが開いた時点では、表示されるファイルの種類 (拡張子) が制限されています。よって実際にはなにがしかのファイルが存在しているにもかかわらずそれらが表示されない場合がありますので注意してください。全てのファイルを表示する場合は、[ファイルの種類] のリストから「すべてのファイル」を選択します。

#### 操作方法

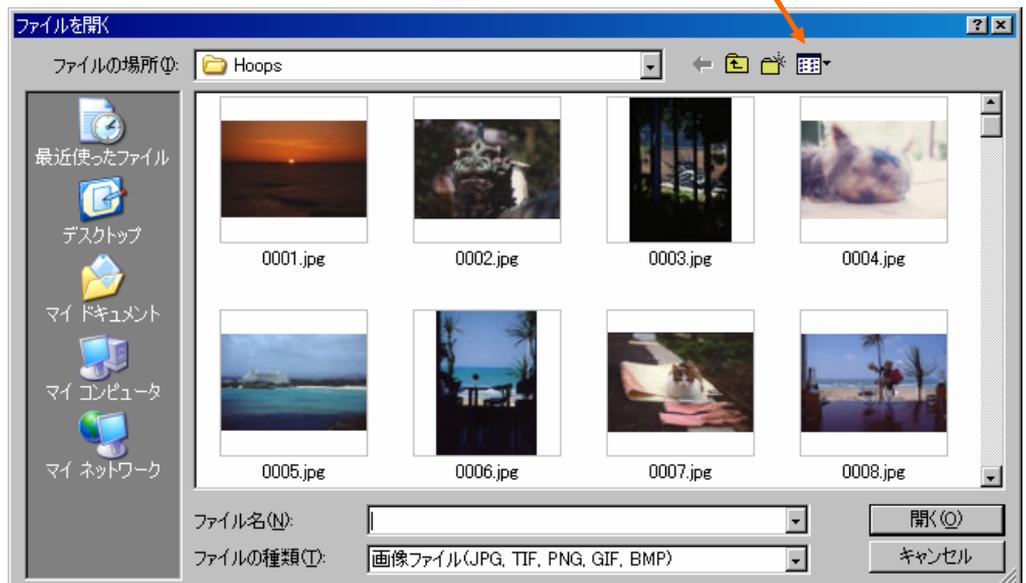
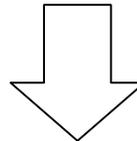
目的のファイルを選択した後に [開く] ボタンをクリックするか、あるいは目的のファイルを示すアイコンをダブルクリックすることで、アルバム管理データの編集領域にファイルが設定されます。

写真ページなどで画像の選択を行う場合は、右の画面の様にウインドウ右上のアイコンをクリックし、表示されるメニューから「縮小版」あるいは「縮小表示」を選択することで縮小画像が表示され、選択し易くなります。(※表示できるファイルの種類は限られていますので全ての画像ファイルが表示できる訳ではありません)

またご使用の環境により、画像が表示された状態で画像の回転を行うことが出来ます。目的の画像の上で右クリックしコンテキストメニューを表示してみてください。「右方向に回転」や「左方向に回転」などのメニューがあればそれらを選択することで画像の回転が可能です。



このアイコンをクリックし、メニューから「縮小版」あるいは「縮小表示」を選択



## 4-4-2 フォントと色の選択

### ◎フォントの選択

このウィンドウは表紙のタイトルに使用するフォントを指定します。

ウィンドウの外観は使用しているPCの環境により変化します。

フォントの表示は、アルバムを閲覧するPCの環境に大きく依存します。

よって出来るだけ多くの環境で同じようなデザインを再現出来るように、標準的なフォントを指定することをおすすめします。

日本語であれば「MS 明朝」「MS P明朝」

「MS ゴシック」「MS Pゴシック」

欧文であれば、「Arial」「Arial Black」「Comic Sans MS」「Courier」「Courier New」「Times New Roman」「Impact」「Verdana」などをお奨めします。



[フォント名] [スタイル] [サイズ] [文字飾り]などを指定して [OK] ボタンを押してください。  
フォントの選択処理を中止する場合は [キャンセル] ボタンを押します。

- ※1 [サイズ]の単位は「ポイント」です。  
2 文字フォントの指定は以下の様に設定されます。

表紙ページのタイトル:

第一フォントは指定の文字フォントが設定されます。

第二フォントは指定したフォント名に「明朝」の文字があれば、「リュウミンライトーKL」、それ以外は「Osaka」を設定し、プロポーショナルを示す「P」の文字がなければ「一等幅」を追加したフォント名を設定します。

上記以外の文字:

第一フォントとして「MS ゴシック」、第二フォントとして「Osaka一等幅」に固定。

### ◎色の選択

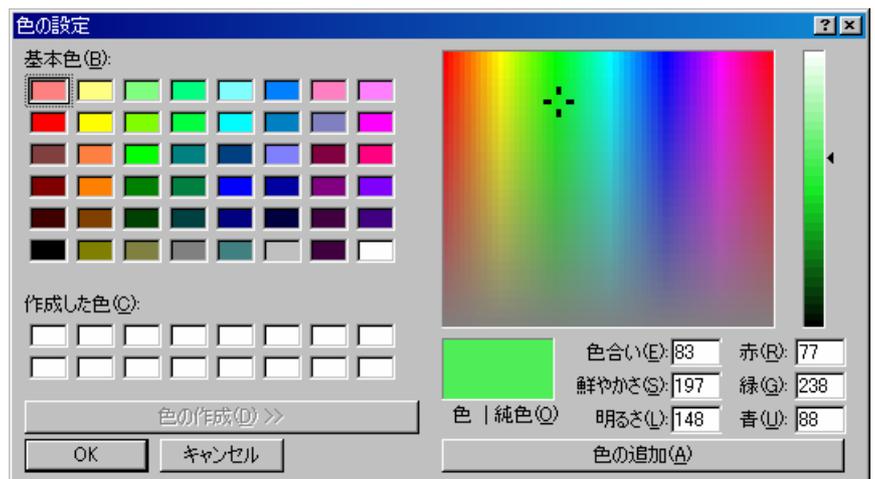
このウィンドウは背景色や文字色などを指定する場合に表示されます。

ウィンドウの外観は使用しているPCの環境により変化します。

色を指定する場合は、[基本色]または[作成した色]の中から所望の色を選択し [OK] ボタンを押します。

新規に色を作成する場合は右側のカラーマトリックス及び明るさ調整のスライダーを操作して所望の色を設定してください。(詳しい操作方法は、各領域の上にマウスカーソルを置き右クリックするとヘルプメニューが表示されるので、それを参照してください。)

事前に「作成した色」の欄のどこかの枠を指定しておいて [色の追加] ボタンを押すと、指定された枠に色が登録されます。



#### 4-4-3 簡易編集・簡易検査

生成したアルバムデータの編集や個別のコメントなどを設定する場面で利用できます。

アルバムデータを編集する場合は構成タブの「編集・検査」ボタンを押します。

コメントの内容を編集する場合は各コメント編集領域にてコンテキストメニューを表示し「別窓編集」を選択するか、編集領域上でダブルクリックしてください。

このウインドウでは、テキスト編集機能とタグの組み合わせを簡易チェックする機能を有しています。またコンテキストメニューより主要タグの雛形も入力可能です。

##### 【開く】ボタン

アルバムデータの編集時のみ有効になり、ファイル選択ウインドウ（→4-4-1）が表示されます。

コメント編集の場合は無効になります。

##### 【保存】ボタン

編集した内容を保存します。

対象がアルバムデータの場合は読込んだファイルに保存されます。コメント編集の場合は、この画面を閉じた時に元のコメント内容と置き換わります。

##### 【フォント】ボタン

編集領域で使用するフォントの仕様を変更します。

フォント選択ウインドウ（→4-4-2）が表示されます。

##### 【ラップ】ボタン

編集領域の右端で行を折り返すかどうかの表示方法を切り換えます。

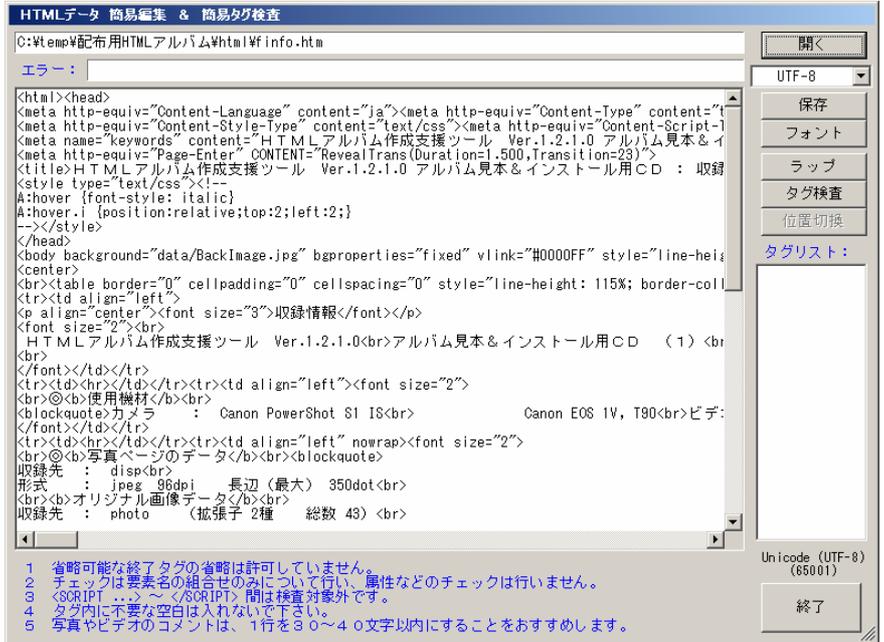
##### 【タグ検査】ボタン

HTMLタグの組み合わせをチェックします。

省略可能な終了タグの省略は認めていません。

##### 【位置切換】ボタン

タグ検査でエラーがあった場合、編集領域内に表示されたエラー箇所として開始タグ側を表示するか終了タグ側を表示するかを切り換えます。



##### 【終了】ボタン

ウインドウを終了します。

##### 【タグリスト】リスト表示

「タグ検査」の実行でエラーが発見された場合、この枠内にタグが表示されエラー箇所（編集領域内で選択状態で表示される）に対応する開始タグが選択状態で表示されます。

##### 注意！

- ◎内容の編集にはHTMLに関する知識が必要です。
- ◎「タグ検査」は一般的なタグについて、開始タグと終了タグの組み合わせを調べています。タグ内のオプションや書式などについては一切チェックしません。またスクリプト内の内容についてもチェックは行いません。
- ◎終了タグが省略可能なタグについては、省略を許可していません。
- ◎タグの先頭部分（“< x x x ”）に unnecessary 空白などがある場合は正常に解析できません。
- ◎編集可能な容量は 65kbyte まで（Windows Me までの環境の場合）です。NT系の場合は使用できるメモリー容量により制限されます。
- ◎生成されたアルバムデータを編集した場合、再度アルバムの作成処理を行うと、編集結果は破棄されます。

#### 4-4-4 メニューの選択と作成

「メニューボタン選択」ウインドウでは、ナビゲート用のメニューを指定します。画像ではなくテキストのメニューを使用する場合は [テキストメニューを使用する] ボタンを押します。

新しくメニュー画像を作成する場合は [新規作成] ボタンで「メニュー作成」ウインドウを開きます。

「取込みモード」では、ネット上に登録されているメニューをダウンロードする事が出来ます。



透過色を指定した場合、閲覧する環境によってはうまく機能しない場合がありますのでご注意ください。

またフォントの種類によってはスタイルの指定が出来ない場合もあります。

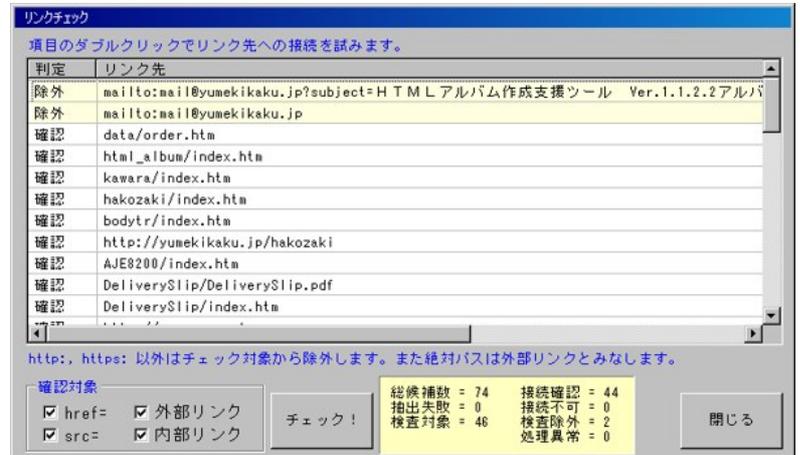


#### 4-4-5 リンクチェック

作成されたアルバムデータをもとに、リンク切れがないかを簡易チェックします。

チェックは必ずアルバムを最新の状態にして行ってください。

また外部リンクはネットワークへの接続が必要になりますので、常時接続でない環境の場合には事前に接続処理を行っておくことをおすすめします。

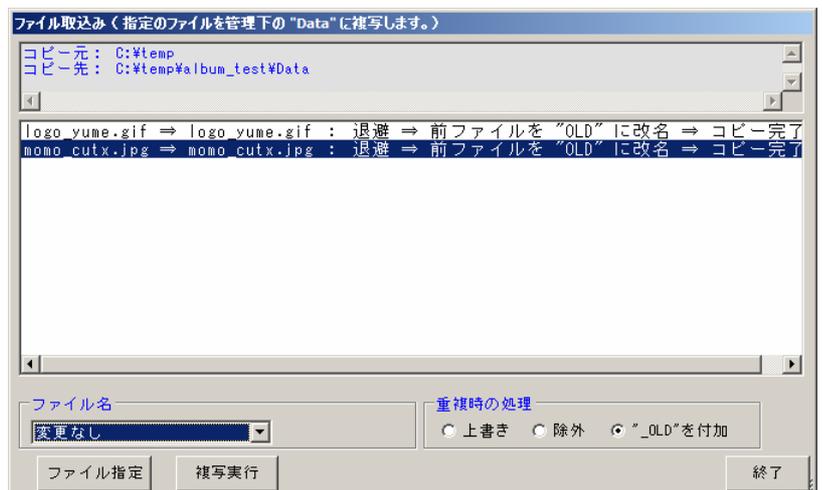


#### 4-4-6 ファイル取込み

選択したデータを管理領域の“Data”フォルダに複写します。

パソコンからファイル形式でデータを扱えるデジタルカメラやビデオカメラなどからデータを取り込む場合などに便利です。

取り込んだデータを写真ページやビデオページなどの登録データとして利用したり、アルバムに関連したデータの保存などにご利用下さい。



#### 4-4-7 印刷処理

設定されているデータをプリンターに出力します。

リスト形式・展示用・CD/DVDラベル・カレンダーなどのモードがあります。

- 1: 「印刷プレビュー」からも印刷可能ですが、リソースを大量に消費することがありますのでご注意ください。
- 2: 印刷イメージを画像として保存した場合の解像度等は選択されたプリンタードライバーの仕様に従います。
- 3: カレンダーの「休日ルール」は本ソフトウェア提供時点でのルールを適用しています。また「春分・秋分の日」は一定の期間(1900～2099年)内を対象にした簡易計算によって日付を求めています。よって過去や将来の実際のカレンダーと食い違うこともありますのでご注意ください。

※追加情報はヘルプを参照してください。



#### 4-4-8 アップロード

作成したアルバムデータをインターネット上のサーバーに転送します。

##### 重要!

この機能では“.rm”, “.ra”などのRealMedia関連の再生定義ファイル中にある“file://”の文字列を実際の“http://”形式に変えて転送します。

「WEBアドレス」と「FTPアドレス」の設定に矛盾が無い様にしておいてください。

##### [前処理] 選択

「転送先をクリア」…転送前に対象領域下の全てのフォルダとファイルを削除します。

「WEBを削除」…対象領域に含まれる全てのフォルダとファイルを削除します。

##### [転送処理] 選択

「通常転送」…すべてのファイルを転送します。

「転送しない」…転送処理を行いません。

「htmlのみ転送」…“.htm”または“.html”の拡張子を持つファイルのみを転送します。

##### [リスト内容から選択転送する] チェック

写真・ビデオ・その他の各リストに登録された項目を指定して転送処理を行います。

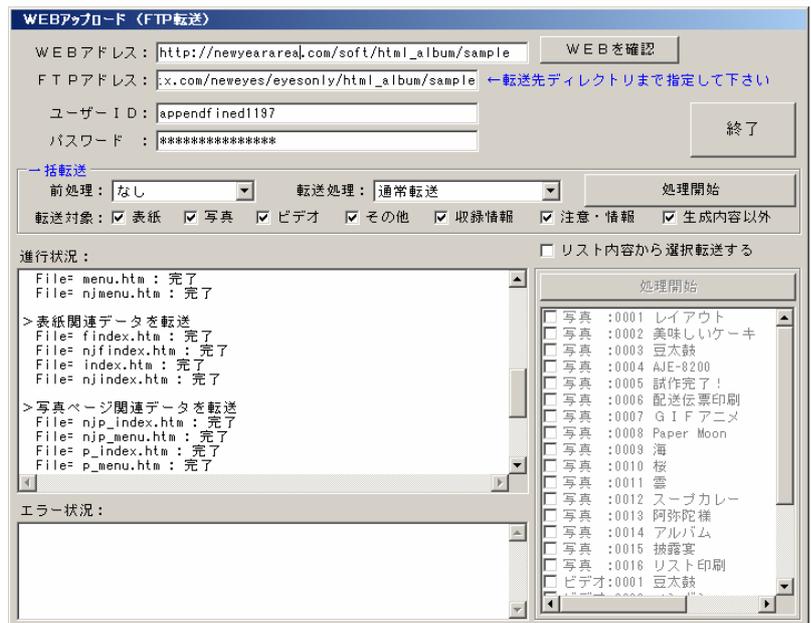
下のリストにチェックを付けた項目のデータのみが転送されます。

リストに表示される番号とタイトルは現在の設定内容ですが、実際に転送されるデータは生成されたアルバムの内容から転送されます。よって、アルバム生成後にリスト内容(リストの順序)を変更した場合はリストとデータの不一致が起こりますので、注意してください。

##### 注意!

1: アルバムの構成に「参照」(フォルダ参照)を含めないで下さい。

2: 「転送先をクリアする」及び「WEBを削除する」を行う場合は十分に注意してください。



#### 4-4-9 その他の処理

各ページのリスト操作等を行います。

##### ◎整列処理

指定の情報を基にリストの整列操作を行います。

##### ◎タイトル操作

タイトルの消去や指定の情報をタイトルに適用する操作を行います。

##### ◎管理域へ複写

“Data”フォルダ外または管理域外にあるデータを“Data”フォルダに複写します。

同時にリストの参照先変更も可能です。

##### ◎データ変換

C S V形式またはXML形式でリスト内容の出力や入力を行います。  
詳しくは「データ変換に関する仕様」(→5-10)を参照してください。

##### ◎画像リサイズ出力

画像データを指定の長辺に合わせたサイズにして出力します。  
画像形式や画質の指定も可能です。

##### ◎前回のリスト操作直前の状態に戻す

リストの内容に変更を加える処理を行った場合、事前に変更前の状態を退避しています。  
この処理はその退避内容を復元します。

その他の処理

整列処理

対象

タイトル操作

管理域へ複写

画像リサイズ出力

前回のリスト操作直前の状態に戻す

データ変換

書出し 読み込み

フォルダ・ファイル指定

CSV形式

実行

実行

実行

実行

実行

終了

文字コードは Shift-JIS で出力されます。各項目の内容はダブルクォート「"」で囲まれ、項目間はコンマ「,」で区切られます。1件分の最後は CR+LFコードで終わります。項目の内容にはコンマや改行文字も含まれます。項目内容中のダブルクォート文字は「"」の様に2重にして表します。最初の行は項目名称が出力されます。

#### 4-4-10 データ作成ウィンドウ

※この機能は「データ作成機能あり」の解除コードを適用された場合に機能します。試用モード及び「データ作成機能なし」の解除コードを適用された状態ではデータの保存及びリストへの登録は行われません。

このウィンドウではUSBカメラやDVカメラ等から静止画を取込んだり音声入力デバイスから音声を取込んだりすることが出来ます。またコメントやタイトルの入力も可能です。

画像や音声の取込は指定の時間間隔で定期的に取り込んだり、マウスのボタンを接点として利用し、外部から取り込みを指示したりする事が可能です。またそれらの開始や終了に関する設定も行えます。



様々な場面での記録や観察などに利用していただけます。

※おまけ程度に、パーティーなどでメッセージを残してもらいたい様な場面での使用を想定したモードもありますので、色々試してみてください。

ご利用にあたっては以下の内容を十分に把握したうえでご利用下さい。

- 1) このウィンドウが表示されている間はパソコンのスタンバイモードへの移行などがキャンセルされます。
- 2) USBカメラやDVカメラからの画像が表示されていても取り込みが行えない場合があります。
- 3) 取込のタイミング（時間や接点など）から実際に画像取込や録音が行われるまでには多少の遅れが生じます。
- 4) 音声の最大取込時間は300秒（5分）に制限しています。
- 5) 取込み処理中に次の取り込み指示があった場合は、その回の取込み指示は無視されます。
- 6) 音声の再生や録音時のボリューム調整及びカメラの画像調整に関する機能は実装していません。これらの調整は各機器のドライバーやコントロールパネルを利用して調整してください。
- 7) 音声の入力と出力は別々にデバイスを指定できますが、画像取込音及び登録終了音の出力はプライマリーデバイス（コントロールパネルの音声デバイスで指定されている機器）が使用されます。  
※ビデオ機器からの音声録音は接続するピンの選択とオーディオ録音設定の組み合わせで実現できる場合があります。
- 8) 画像や音声などの取込み時にディスク空き容量のチェックは行いませんので、事前に取込むデータ量と空き容量などをチェックしておいてください。
- 9) 取込みのタイミングで「接点」を指定した場合の「接点」とはマウスのクリック動作を指します。  
「接点」入力をご利用の場合は、夢企画の販売する「接点出しマウス」を是非ご利用下さい。
- 10) 自動取込モードで画像と音声を取込む様に設定した場合、画像の取込音を出力する様に設定していると音声データとして録音される場合があります。この場合は画像取込音を発生しないようにするか、マルチメディアのコントロールパネル等にて録音ソースの設定を変更してください。
- 11) 取込んだ画像や音声のデータは全て管理領域の“Data”フォルダ（→4-3）に格納されますので、ファイル名の重複には注意してください。

※カメラ等の接続と動作確認は以下の条件で行っています。カメラのドライバーなどにより接続出来ない場合や、接続できても取込が出来ない場合があります。今後は汎用的に使用出来る様に改善していく予定です。

USBカメラはDirect Show対応の物を、DVカメラはリアルタイム画像を出力出来るタイプのものをご利用下さい。

OS : Windows XP Pro SP3(512MB Intel Celeron 1G / 384MB AMD Duron 1G)  
カメラ : LOAS MCM-07BK (USB Camera), SHARP VL-MR1 PRO (Digital Video Camera IEEE1394)  
音声 : オンボードオーディオデバイス, ONKYO WAVIO SE-U33HUB (USB Audio)

## 5 データ仕様・その他資料

### 5-1 アルバム管理データに登録できるファイル形式と再生プログラムの割り当て：（拡張子）

音声や動画ファイルの規格は様々で、専用のプログラムが必要な場合があります。

本ツールではマルチメディアの再生用タグを以下の様に組み込みます。

#### 1) 再生ツールを指定する場合

拡張子から判断し、本来の再生ツールを割り当てる OBJECT タグと EMBED タグを生成します。

下表に於いて割り当てを設定していないファイル形式には構成タブの「プレーヤー」（→4-3-1）で指定された処理を適用します。

※ツールを指定しても環境により再生できない場合や指定外のツールが再生を行う場合もあります。

#### 2) 再生ツールを指定しない場合

拡張子に関係なく全てを単純な EMBED タグで構成します。

#### 5-1-1 写真（静止画像）

このツールの編集ウインドウ内で表示可能な画像の種類は、以下の表のようになっていきます。通常はこれらの画像形式と拡張子のものを使用してください。

ファイル選択ウインドウでの初期の拡張子指定と写真ページ編集タブ（→4-3-3）の「一括追加」およびドラッグ&ドロップでの追加では、表に記載の拡張子が対象となります。ただしファイル選択ウインドウでは他の拡張子のファイルを選択することも可能ですが、規定のデータ形式でない画像ファイルは編集ウインドウで表示できませんし、アルバム生成時の縮小画像も作成されません。

ツール上で表示できるデータ形式	一般的な拡張子	アルバム上での扱い
BMP (Bit Map)	.bmp	表示用として .jpg へ変換 オリジナル画像として .jpg への変換収録可能
TIFF (Tag Image File Format)	.tif, .tiff	
JPEG (Joint Photographic Experts Group)	.jpg, .jpeg	
PNG (Portable Network Graphics)	.png	無加工で表示&収録 ※メニュー用は除く
GIF (Graphics Interchange Format)	.gif	
ICON	.ico	
Windows Metafile	.wmf, .emf	

#### 5-1-2 ビデオ（動画）

ビデオファイルについては、本ツールでの編集時および出力されたアルバムの閲覧時を含め、その再生は使用している PC の環境に大きく依存します。具体的には、それぞれのビデオデータ形式に応じた CODEC（圧縮伸長プログラム）や再生を受け持つソフトウェアが必要です。

ファイル選択ウインドウでの初期の拡張子指定とビデオページ編集タブ（→4-3-4）の「一括追加」およびドラッグ&ドロップでの追加では、表に記載の拡張子が対象となります。ただしファイル選択ウインドウでは他の拡張子のファイルを選択することも可能です。

一般配布あるいはインターネット上での公開を行う場合は出来るだけ一般的なデータ形式のファイルを使用してください。

AVI 形式では編集などに使用する場合に適しますが、データ量が多くなりインターネットでの配信などには不向きです。一般的な配布用では MPEG2 や WMV などを使用してください。

表中のアルバム作成時の割り当ては、構成タブ（→4-3-1）で「再生ツールを指定しない」にチェックが入っていない場合に割り当てられるツールです。（M:MediaPlayer, Q:QuickTime, R:RealPlayer, F:Flash）

流通している主なデータ形式と割り当て	割当	拡張子
AVI ( Audio Video Interleaving ) Windows での標準的な音声・動画データ形式ですが、非圧縮の場合は膨大なデータ量になります。再生にはほとんどのソフトが対応していますが専用の CODEC が必要な場合があります。		.avi
ASF ( Advanced Streaming Format ) Windows での標準的な音声・動画データ形式です。専用の CODEC が必要な場合があります。	M	.asf
MOV 形式 ( QuickTime ) Apple での標準的なデータ形式です。再生には対応したソフトが必要です。	Q	.mov, .qt, .mqv

MPEG1 ( Moving Picture Experts Group phase 1 ) ISO による映像データの規格の一つです。再生には対応したソフトが必要です。		. mpg, . mpeg
MPEG2 ( Moving Picture Experts Group phase 2 ) ISO による映像データ規格の一つです。一般的には MPEG-1 より高画質で、DVD やデジタル放送に採用されています。		. mpg, . mpeg
WMV ( Windows Media Video ) Windows Media Technologies による動画圧縮フォーマット、ストリーミングデータフォーマットです。インターネットでの配信を含め Windows 環境での再生には非常に適しています。	M	. wmv, . wm
Real Video 圧縮率が高く、通信速度の低い回線でのストリーミング配信に適しています。	R	. rm, . rv
Flash アルバム上では Flash Player が割り当てられます。	F	. swf, . flv

### 5-1-3 音声

音声ファイルもビデオファイル同様に、再生の可否は再生しようとするパソコンの環境に大きく依存します。表中のアルバム作成時の割り当ては、構成タブ (→4-3-1) で「再生ツールを指定しない」にチェックが入っていない場合に割り当てられるツールです。(M:MediaPlayer, Q:QuickTime, R:RealPlayer)

流通している主なデータ形式と割り当て	割当	拡張子
WAVE Windows では標準的なファイル形式です。多くの再生ソフトで再生が可能ですが、データ量は非常に多くなります。		. wav
AIFF ( Audio Interchange File Format ) Apple の標準的なファイル形式です。多くの再生ソフトで再生が可能です。		. aif, . aifc . aiff
AU ( NeXT/SUN (Java)File ) UNIX の標準的なファイル形式です。多くの再生ソフトで再生が可能です。		. au, . snd
MP1 ( MPEG Audio Layer 1 ) ISO 規格による圧縮動画形式で、音声部分の圧縮規格。対応した再生ソフトが必要。		. mp1
MP2 ( MPEG Audio Layer 2 ) ISO 規格による圧縮動画形式で、音声部分の圧縮規格。MP1 よりも圧縮率が高くなります。		. mp2
MP3 ( MPEG Audio Layer 3 ) ISO 規格による圧縮動画形式で、音声部分の圧縮規格。MP1 や MP2 よりも圧縮率が高くなります。現在では多くの再生ソフトで再生が可能です。		. mpg, . mp3
RA (Real Audio) 圧縮率が高く、通信速度の低い回線でのストリーミング配信に適しています。	R	. rm, . ra
WMA ( Windows Media Audio ) Windows Media Technologies による音声圧縮フォーマット、ストリーミングデータフォーマットです。多くの場合、MP3 よりも圧縮率が高く品質も良好です。	M	. wma, . wm
AVI ( Audio Video Interleaving ) Windows での標準的な音声・動画データ形式です。再生にはほとんどのソフトが対応していますが専用の CODEC が必要な場合があります。		. avi
ASF ( Advanced Streaming Format ) Windows での標準的な音声・動画データ形式です。専用の CODEC が必要な場合があります。	M	. asf
MIDI 電子楽器による演奏のためのデータ形式です。再生には対応するソフトや機器が必要です。		. mid, . midi . rmi

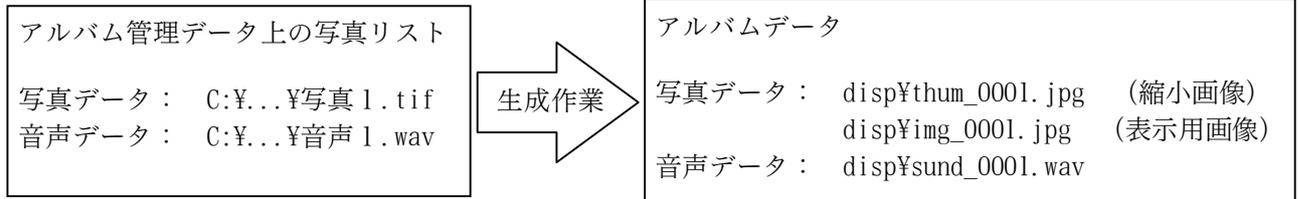
## 5-2 アルバムに登録できるデータ数

写真ページ（静止画像）	1000	※実際のアルバムデータは記録するメディア（HD, CD, DVD など）の容量による制限を受けます。
ビデオページ（動画）	100	
その他ページ（不特定）	1000	

## 5-3 アルバム管理データ編集時のデータと、出力されたアルバムデータとの関係

写真やビデオ、あるいは音声のオリジナルデータと実際のアルバムデータとの関係は次のようになります。アルバム上のデータファイルは、アルバム管理データ編集時の各リストの順番をファイル名として使用しています。

例えば写真リストの最初に「写真1.tif」「音声1.wav」というデータが設定されていた場合



上の図の様に「写真1.tif」は縮小画像として「thum\_0001.jpg」に、また表示用画像として「img\_0001.jpg」に変換され、音声ファイルは「sund\_0001.wav」としてそれぞれ disp フォルダに書き出されます。アルバム上で表示される縮小画像と表示用画像は通常 96dpi の JPEG 形式ファイルとなります。

原画像データをアルバムデータ内に含ませる場合は、構成タブ（→4-3-1）の「印刷・原画フォルダを作成」にチェックを付けてください。この場合、アルバムの photo フォルダに「img\_0001.tif」というファイル名でオリジナルの画像がコピーされます。（原画像を JPEG 形式に変換して格納する事も出来ます）

「写真ページ」及び「ビデオページ」に登録された画像・音声・ビデオの各データファイルは、アルバム生成時に先のようにファイル名が変更されます。「その他ページ」に登録されたデータはファイル名を変更するかどうかを指定する事が出来ますので、インターネット上で公開する場合は十分に注意してください。

## 5-4 ナビゲーション用メニュー画像の仕様

ナビゲーション用のメニューに使用する画像は、以下の仕様に従って最大 999 種類まで登録することが出来ます。①「写真」②「ビデオ」③「その他」④「収録情報」⑤「フォルダ参照」⑥「注意事項」⑦「表紙」用の各画像を1つのまとまりとして1種類とします。

メニュー番号は連番である必要はありませんので目的に応じた番号の振り分けが可能です。

データの形式 : GIF, PNG, JPG, BMP

画像のサイズ : 自由 ※初期登録されているデータは横 90dot 縦 40dot を中心に構成されています。

メニューの配置を行う場合にこの大きさを基準に調整を行っていますので、あまりサイズの違う画像を使用することは避けてください。

最大でも 横 100\*縦 50 程度にすることをおすすめします。

メニュー画像の格納場所： 本ツールをインストールしたフォルダ内の「image」フォルダ

ファイル名の形式： menu\_nnnx.ext

nnn はメニューの番号を表します。 001~999 の最大 999 種類が登録できます。

x はメニューの種類を表します。

x = "p" 写真ページへのメニュー                      x = "v" ビデオページへのメニュー

x = "i" 収録情報ページへのメニュー                  x = "f" フォルダ参照のメニュー

x = "n" 注意・情報ページへのメニュー              x = "t" 表紙へのメニュー

x = "e" その他ページへのメニュー

ext はファイルの拡張子

## 5-5 JavaScript を使用しないページについて

このツールで生成されたアルバムは、基本的に JavaScript が使用出来る環境での閲覧を想定しています。JavaScript 未サポートのブラウザで閲覧した場合は、表紙ページにて JavaScript を有効にする様に促すメッセージが表示されます。

「JAVA を使用しないページも作成」にチェックを付けて生成したアルバムでは、JavaScript の有効を促すメッ

ページと共に、JavaScript を使用しないページへのリンクが表示されます。このリンクをたどる事で JavaScript を使用しないページを閲覧することが出来ます。

JavaScript を使用しないページでは、写真ページに於いて自動表示（自動順次表示）が実行できません。また写真ページやビデオページで表示を切り換える案内が（「次へ」「前へ」など）ボタンではなくリンク設定された文字になり、検索機能なども付加されません。

※実際にはページを直接指定して閲覧されることを想定して、部分的に JavaScript コードが埋め込まれています。

## 5-6 アルバムデータ生成後の修正について

生成されたアルバムデータは“html”フォルダに格納されています。html 形式のファイルはそのままテキストエディタやホームページ作成ソフトなどで直接編集することが出来ます。

各メニュー用のページデータは“html”フォルダに格納されていますが、JavaScript 不使用ページとして使用されるページデータは種類に応じて“disp”フォルダや“video”フォルダに格納されています。

## 5-7 音声データの時間修正

出力されたアルバムの写真ページでは、各画像表示と同時に音声データの再生も出来る様になっています。JavaScript が実行できる環境では画像を順次表示する自動表示機能を実行させることが出来ます。この自動表示では、音声の再生が終了してから次の画像を表示することを基本にしていますが、その終了の判断はアルバム管理データの編集時に得られる時間データを用います。

アルバム管理データの編集時に再生出来ない音声データからは時間データも得られないため、暫定的に「切換時間」（構成タブの「自動表示」）で設定された秒数を適用します。（→4-3-1）

もしアルバム作成後に切換時間を変更したい場合や画像別に時間を設定したい場合は以下の内容を参考に直接編集してください。

◎編集するファイル： p\_menu.htm

◎修正箇所： 先のファイルの<SCRIPT>タグ以降

◎時間単位： ミリ秒

```
<SCRIPT language="JavaScript">
```

```
<!--
```

```
var Pointer = 0;
```

```
var SlideFlag = 0;
```

```
var Counter = 0;
```

```
var NOD = 0;
```

```
var TimeInterval = 7000; <----- ここに最小切換時間を設定します。
```

```
Pdata = new Array(109);
```

```
Mdata = new Array(109);
```

```
Sdata = new Array(109);
```

```
Stime = new Array(109);
```

```
Pext = new Array(109);
```

```
Pdata [0] = "001";
```

```
Mdata [0] = "どこかの日本海側の夕焼け・・・<br>たしか、出雲大社へ行った時だと思う (^_^);";
```

```
Sdata [0] = ".wav";
```

```
Stime [0] = 2439; <----- 個別の時間を設定します。ここは1番目の写真に対する音声再生時間
```

```
Pext [0] = ".jpg";
```

```
Pdata [1] = "002";
```

```
Mdata [1] = "・・・どこの狛犬だったっけ?";
```

```
Sdata [1] = ".wav";
```

```
Stime [1] = 1500;
```

```
Pext [1] = ".jpg";
```

```
Pdata [2] = "003";
```

```
Mdata [2] = "林の向こうの小川";
```

```
Sdata [2] = ".wav";
```

## 5-8 コメント内の自動リンクについて

複数行の入力が可能なコメント枠の内容に以下の表に示す特定の文字列が現れると、次に現れる半角空白文字の直前までの文字列をリンク指定と解釈し自動的にリンクを設定します。

特定の文字列は半角文字に限定されますが、大文字小文字は問いません。（リンク設定タグ内では小文字に変換されます。）

プロトコル文字列	
http:	Hyper Text Transfer Protocol
https:	Hyper Text Transfer Protocol over SSL (Secure Sockets Layer)
mailto:	
ftp:	File Transfer Protocol
news:	newsgroup
nntp:	Network News Transfer Protocol
wais:	Wide Area Information Server
ldap:	Lightweight Directory Access Protocol
file:	サポートしていません。下の”inside:”を使用してください。
telnet:	
gopher:	Gopher
mail:	本ツールの特殊仕様で、メールへのリンクです。 先のmailto: 同様ですがアルバム上はキーワードは表示されずにメールアドレスのみが表示されます。
inside:	本ツールの特殊仕様で、ローカルなファイルに直接リンクを張る場合に使用します。アルバム内では、このキーワードは表示されません。 リンクをクリックすることで、ファイルの拡張子に応じたプログラムが自動的に起動したり直接プログラムを実行したりという動作をさせたい場合に使用してください。 ※これらの機能は閲覧するブラウザやPCの環境に依存します。 ファイルを指定する場合の基点はhtmlフォルダになります。

※リンク設定時の注意事項。

- 1 環境によりダブルバイトのURLも使用可能になりつつありますので、本ツールでは全角文字もURLとしてリンクを設定します。（“http://夢企画.jp”など）
- 2 リンク対象の範囲は上記の文字列が現れた位置から、次に現れる空白文字または改行の直前までとなります。
- 3 URLを示す文字として不適切な文字の判別は行っていませんので注意してください。

書式：

- 1 プロトコル文字列 + リンク先アドレス（例 “http://yumekikaku.jp”）は  
“<a target="\_blank" href="http://yumekikaku.jp">http://yumekikaku.jp</a>” に置き換わります。
- 2 プロトコル文字列 + リンク先アドレス + “,” + 表示文字列  
（例 “http://yumekikaku.jp, 夢企画”）は  
“<a target="\_blank" href="http://yumekikaku.jp">夢企画</a>” に置き換わります。

## 5-9 HTMLタグの埋め込みと特殊な命令

表紙タイトル及び縮小画像用タイトルを除く全てのコメント部分にはHTMLのタグを直接記述することが可能です。

但し以下の様な処理が行われることを念頭に置いて記述してください。

- 1) 改行コードは“<br>”に置き換わります。
- 2) 自動リンクを有効にした場合、“http://...”などのキーワードがあると、タグの内外を問わずリンクタグ挿入処理が適用されます。(5-8参照)

これらの処理により期待通りの結果が得られない場合は、HTMLタグ領域であることを宣言することによって、ほとんどの不具合を回避することが出来ます。

複雑な処理を記述したり自動リンクの影響を受けないようにする場合は、この領域宣言を使用してください。

宣言方法は・・・領域開始のキーワード“\$html”と領域終了のキーワード“\$end”で囲むだけです。例えば以下の様に記述します。

### \$html

```
<table border="3" cellpadding="3" cellspacing="1" bordercolor="#FF0000" id="AutoNumber6"
bordercolorlight="#FF0000" bordercolordark="#COCOCO">
<tr><td>
<font size="2">
<a title="夢企画のバナー" target="_blank" href="http://yumekikaku.jp/">
</a></font>
<font size="2"><p>夢企画をよろしくね!<br>ついでにアルバム作成ツールも、よろしくです.<br><br>
</font></td></tr></table>
```

### \$end

※“\$end”が無い場合は、“\$html”からコメントの最後までが処理の対象になります。

この宣言を行った場合でもある程度の処理が行われますので、全てが期待通りなる訳ではありません。

またこのキーワードで囲まれたブロックは複数あってもかまいませんが、入れ子状態には出来ません。

### ※注意事項

このツールはJavaScriptを使用したページと使用しないページを同時に作る事を目的としています。よってコメント内にスクリプトを埋め込むことは本来の趣旨から外れますので、出来るだけスクリプトの使用は避けてください。

HTMLタグ及びスクリプトを使用する場合は以下の内容を十分に把握した上でご使用下さい。

- 1) スクリプトの外部ファイルはサーバー環境によってうまく読込めない、あるいはうまく機能しない場合があります。
- 2) \$html～\$end 内の改行コードは以下の様に変換されます。  
JavaScript 使用のページでは“\n”に変換されます。  
JavaScript を使用しないページでは、そのまま改行コードが残ります。
- 3) SRC="..." などのソース指定で"http"以外が指定されている場合はローカルファイルと判断し、JavaScript を使用しない写真・ビデオのページでは相対指定を示す"./"が先頭に付加されます。

### その他の特殊な命令

<b>\$CommentOnly</b>	表紙・写真・ビデオページにおいて標準のレイアウトを適用せずにコメント内容のみを表示します。タグやスクリプトを使って独自の内容にする場合に使用します。主目的のファイルは\$Target, \$TargetAudio を使って置き換える事が出来ます。
<b>\$FixedPage ()</b>	写真・ビデオページにて、通常アルバムページではなくhtmlフォルダ以下に置かれた既成のページを表示する様にします。 例: \$FixedPage(xxx.htm)  注意: アルバムフォルダ外にあるページも相対指定出来ますがブラウザにより制限されることがあります。 また“http:”などのスキーム指定も可能ですが、ドメインが異なる場合は以後の動作に不具合が起これると思われれます。 ※“次へ” “前へ” “原画”などの個別操作ボタンは、JAVA使用ページで操作ボタン固定の場合を除き無効になります。また一覧ページを除きコメント内容も表示されません。設定された画像やビデオデータはアルバム内に収録されます。

\$AlbumTitle	アルバムのタイトルと置き換わります。
\$AlbumTitleTag	フォントや色情報を含めたアルバムのタイトルタグと置き換わります。
\$Target	各ページで使用する主目的の画像やビデオなどのファイル名に置き換わります。
\$TargetAudio	表紙または写真ページの音声として設定されているファイル名に置き換わります。
\$P 撮影日時	写真ページにて、EXIF 情報から「ファイル更新日時」と置換える。
\$P 露出時間	写真ページにて、EXIF 情報から「露出時間」と置換える。
\$P 絞り	写真ページにて、EXIF 情報から「F ナンバー」と置換える。
\$P メーカー	写真ページにて、EXIF 情報から「画像入力機器のメーカー名」と置換える。
\$P モデル	写真ページにて、EXIF 情報から「画像入力機器のモデル名」と置換える。
\$P レンズ焦点	写真ページにて、EXIF 情報から「レンズ焦点距離」と置換える。
\$P 被写体距離	写真ページにて、EXIF 情報から「被写体距離」と置換える。
\$P フラッシュ	写真ページにて、EXIF 情報から「フラッシュ」と置換える。
\$P 測光方式	写真ページにて、EXIF 情報から「測光方式」と置換える。
\$P 露出プログラム	写真ページにて、EXIF 情報から「露出プログラム」と置換える。

※撮影関連データで、データ内容が無い場合は“no data”の文字列に置き換わります。

## 5-10 データ変換に関する仕様

データ変換機能は他のソフトウェア等とのデータ共有を行うために設けられていますが、データの互換性についてはなんらの検証も行っていないのでご注意ください。  
特にCSV形式のデータに関しては以下の仕様を十分に把握してご利用下さい。

※データ変換は写真・ビデオ・その他の各リストのみを対象にしています。

また読み込み時のデータ重複チェックは行っていません。

◎書出し時のファイル名（ファイル名と拡張子は以下の様に固定しています。）

形式	写真ページ	ビデオページ	その他ページ
CSV	PhotoDataExp.csv	VideoDataExp.csv	EtcDataExp.csv
XML	PhotoDataExp.xml	VideoDataExp.xml	EtcDataExp.xml

※読み込み時はファイルの拡張子によるデータ形式の自動判別は行いませんので、必ず形式も指定して下さい。

◎CSV形式

- ・文字コードはShift-JIS固定です。
- ・1件分のデータはLF（またはCR+LF）コードで終わります。
- ・最初の1件はタイトル行とし、データとみなしません。
- ・各項目はカンマ（半角文字「,」）で区切ります。
- ・項目の内容はダブルクォート（半角「"」）で囲みます。
- ・項目内容中のカンマやCR、LFは区切りとみなしません。
- ・項目内容中のダブルクォートは2重（"'"）にします。

※項目の並びは固定されていますので、CSV形式で出力したデータを参考にしてください。

◎XML形式

- ・文字コードは UTF-8
- ・エレメント名は大文字小文字を区別しません。
- ・各ページのデータを一つのファイルにまとめる事は出来ません。

ページ種別とエレメントの対応は表のとおりです。

エレメント	写真ページ	ビデオページ	その他ページ
PhotoPageData	写真ページデータ ルート	—	—
VideoPageData	—	ビデオページデータ ルート	—
EtcPageData	—	—	その他ページデータ ルート
Data	1 件分のデータブロック	1 件分のデータブロック	1 件分のデータブロック
Title	タイトル	タイトル	タイトル
Comment	コメント	コメント	コメント
PhotoFile	写真ファイル	—	—
AudioFile	音声ファイル	—	—
TimeLength	音声再生時間 (m s)	—	—
VideoFile	—	ビデオファイル	—
Width	—	ビデオの幅 (d o t)	—
Height	—	ビデオの高さ (d o t)	—

写真ページの場合の例：

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
<PhotoPageData>
  <Data>
    <PhotoFile>C:¥temp¥photo¥123. jpg</PhotoFile>
    <Title>1 2 3</Title>
    <Comment>1 2 3 の写真・・・</Comment>
    <AudioFile>C:¥temp¥audio¥567. mpg</AudioFile>
    <TimeLength>10000</TimeLength>
  </Data>
  <Data>
    .
    .
    .
</PhotoPageData>
```

## 6 無難な使い方・他

### 1) コメント等は、1行を30～40文字以内にする。

アルバムではブラウザの機能やコメント幅を指定することで長い行を自動的に折り返して表示しますが、適切な画面幅がないと意図した表現がうまく実現できない場合が多くなります。

また印刷機能により出力する場合は、もちろん折り返し機能もありますが、コメント全体を予定の領域内に収めるための文字サイズ調整を行う機能があります。(展示用印刷のページ2分モードのみ) この機能を有効にした場合、コメント内容を忠実に再現するために折り返し機能を無効にして文字サイズの調整のみで対応します。よって1行が長くなると、その行を1行にするために文字のサイズが極端に小さくなってしまいう事もあります。

### 2) WEB上で公開する場合は出来るだけ本ツールの「アップロード」機能を使う。

リアルメディアのファイル(拡張子 “.rm” “.ra”)を含むアルバムをWEB上に公開する場合は本ツールの「アップロード」機能を出来るだけ使用してください。

リアルメディア関連のファイルは再生ファイルとして直接目的のファイルを指定しても構わないのですが、出来るだけ多くの環境で再生出来るようにリアル推奨の推奨する手続きに則って再生のための手続ファイルを指し示す様にしています。この場合ローカルディスクにある場合とWEB上にある場合とでその内容が異なるため、「アップロード」機能による転送の際に内容を書き換える処理を行っています。

※IEで閲覧する場合は、ローカルの設定のままでWEB上に上げてもうまく再生される様です。

### 3) 音声や動画の再生ツールや閲覧時のブラウザは出来るだけ指定する。

音声や動画の再生は閲覧する環境に大きく依存します。よって一般的なファイル(データ)形式を使用した上で再生するツール(プラグイン)やブラウザを指定や限定した仕様でアルバムを生成することをお勧めします。音声や動画については・・・

出来れば拡張子が “.ra” “.rm” などの RealPlayer を割り当てる形式は使用しないことをお勧めします。

理由は、これらのファイル形式に対しては再生の為に別途生成されたファイルを再生対象とするのですが、ローカルPC上にある場合とWEB上にある場合では内容が異なるためです。

また MediaPlayer に割り当てている形式のデータも MediaPlayer 用のメタファイルが作成され、このデータを中継して実際のデータへアクセスされますが、この場合はローカルでもWEB上の配置でも問題無い様です。

ただし、このデータを MediaPlayer 以外の再生ツールが利用した場合は不具合を起こすかも知れません。

今後、実際のデータファイルを指す様なタグを生成する事も検討します。

ブラウザに関して・・・

閲覧に使用するブラウザにより動作が大きく異なることがあります。また同じブラウザでもそのバージョンによって動作が違うことはよくあります。

これらの事により、全ての環境で同じ様に見せたりマルチメディアを再生させたりということは、非常に難しくなっています。よってある程度閲覧環境を限定した形でアルバム作成を行うことをおすすめします。

### 4) RealPlayer, QuickTime, FlashPlayer がインストールされている環境でご利用の場合

「動作・環境の設定」(⇒4-2-5)にて各ツールの使用を指示することにより設定時の音声やビデオ再生にこれらのツールを使用することが出来ます。

どのツールに割り当てるかは各ツールに設定された拡張子との関連付けに従いますので、個別に適切な設定を行ってください。(※本ツールが対象としている拡張子のみ適用されます)

またこれらの設定はアルバム作成時の再生ツール割り当てには影響しません。

# 制限解除コードと発行依頼について

## 1 試用モード

試用モードでの制限事項

- ・扱えるデータ数は「写真」・「ビデオ」・「その他」ページに各5件まで。
- ・アルバムの新規制作処理は10まで
- ・データ数が5を超えたデータを読みもうとした場合は処理を中止します。
- ・写真ページの「データ作成」処理ではデータの保存及び登録処理は行われません。
- ・印刷処理では用紙の最上部にソフトウェアの名称が印刷されます。

## 2 制限解除コードの種類と機能

基本条件：

- ・1つの制限解除コードは正規に購入した者が直接管理するコンピュータの3台までに適用していただけます。
- ・解除コードの無償再発行は行いません。
- ・学校の教材などでご利用の場合は別料金体系となりますので、直接ご相談下さい。

種類と制限内容：

データ作成機能	解除コードの種類	解除期限	使用期間	備考
なし	個人使用	あり	制限なし	データ作成機能は利用できません。
	団体・業務使用	あり	制限なし	
	解除期限なし	なし	制限なし	
あり	使用期間 7日	あり	7日	解除予定日の指定が可能です。
	使用期間 14日	あり	14日	
	使用期間 21日	あり	21日	
	使用期間 28日	あり	28日	
	使用期間制限無し	あり	制限なし	
	解除期限・使用期限なし	なし	制限なし	カレンダー印刷時の通し番号の最大値が9999までになります。

※解除期限：制限解除コードを適用できる期限です。期限を過ぎると解除コードを入力しても解除は出来ません。

使用期間：制限解除を行ってから解除状態で使用出来る日数です。使用期間を過ぎると試用モードで動作します。

## 3 解除コードの発行について

解除コードの入手は、以下の手順で夢企画へ直接ご依頼下さい。

発行依頼： 以降のページにある、目的のバージョンの「制限解除コード発行依頼書」をFAXにて送付してください。または夢企画のオンラインショップから目的の解除コードの購入手続きをしてください。

手続き： コードの発行は入金確認が出来てから行います。  
 オンラインショップから購入の場合は送金先を自動的にお知らせしますので、金融機関の4営業日以内に送金してください。ショップの規定上、期日以内に入金確認できない場合はご注文を無効とさせていただきます。  
 FAXでご依頼された場合は基本的にはFAXで送金先をお知らせしますので、出来るだけ早めに送金をお願いします。送金先をお知らせしてから金融機関の7営業日を過ぎた場合はご依頼のキャンセルとみなします。

通知： オンラインショップでご購入いただいた場合は、メールにて解除コードをお知らせいたします。  
 FAXでご依頼いただいた場合はFAXにてコードをお知らせします。

再発行： 如何なる理由でも、無償再発行は行いません。  
 ただし使用期間の延長を希望される方や解除期限や使用期限のないコードを購入いただいた事を確認出来た方が正当な理由で再発行をご希望される場合は割引を検討させていただきますのでご相談下さい。

## 制限解除コード発行依頼書（データ作成機能 あり）

発行種別 番号を○で囲む	解除期限付き 使用期間→①7 ②14 ③21 ④28（日間） ⑤使用期間制限無し ⑥解除期限・使用期間制限なし																								
解除予定日	年 月 日（使用期間制限付きの場合のみ、希望があれば記入）																								
使用者  <small>夢企画のページから記入いただいたホームページへリンクを希望の場合は、「リンク希望」を○で囲んでください。 ※使用者の直接運営するページに限ります。</small>	名称： _____ 住所： _____ _____ 電話： _____ F A X： _____ 業種： _____ ホームページ： _____（リンク希望） メールアドレス： _____																								
アンケート	個人の場合⇒ 年齢： _____才 性別： <u>男</u> ・ <u>女</u> 主な使用目的： ①資料整理 ②社内業務使用 ③制作サービス ④データ収集 ⑤宴会でのメッセージ収集等 主な使用者： ①購入者 ②団体職員 ③学生（公立）																								
<p>制限解除コードは入金確認後に F A X にてお送りいたします。                  1つの解除コードで制限解除できるパソコンの台数は3台までとします。                  ※ご注意！ コード発行代金は如何なる理由があっても、返金には応じません。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">解除期限付コード</td> <td style="width: 20%;">・・・使用期間</td> <td style="width: 20%;">7日間</td> <td style="width: 30%;">2500円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>14日間</td> <td>3500円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>21日間</td> <td>5000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>28日間</td> <td>6500円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>使用期間制限無し</td> <td></td> <td>20000円</td> </tr> <tr> <td>期限無しコード（解除期限・使用期限なし）</td> <td></td> <td></td> <td>40000円</td> </tr> </table> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>※「使用期間」は制限解除を行った日から機能制限無しで利用できる期間です。                  この期間を過ぎると以降は試用モードで動作します。                  ◎解除コードは夢企画のオンラインストアでもご購入いただけますのでご利用下さい。</p> </div> <p>※本ソフトウェアを学校内で使用する場合や有償無償に関わらず不特定者へのサービスとして利用を提供する環境に置く場合は料金体系が異なりますので、事前にご相談ください。</p> <p>連絡先： 夢企画（2012年 11月時点）                  〒812-0061 福岡市東区菅松2丁目3-17-202号                  電話： 092-624-1316 FAX： 092-624-1317                  ホームページ：<a href="http://yumekikaku.jp/">http://yumekikaku.jp/</a> メール：<a href="mailto:mail@yumekikaku.jp">mail@yumekikaku.jp</a></p>		解除期限付コード	・・・使用期間	7日間	2500円			14日間	3500円			21日間	5000円			28日間	6500円		使用期間制限無し		20000円	期限無しコード（解除期限・使用期限なし）			40000円
解除期限付コード	・・・使用期間	7日間	2500円																						
		14日間	3500円																						
		21日間	5000円																						
		28日間	6500円																						
	使用期間制限無し		20000円																						
期限無しコード（解除期限・使用期限なし）			40000円																						

### ※個人情報の取扱いについて

本ツールの解除コード購入時にお知らせいただいた個人情報は、第三者へ渡る事の無い様に厳重に管理します。  
 お知らせいただいたメールアドレスへ本ツールのバージョンアップや利用例などの案内をお送りすることがあります。  
 また住所へは年始の挨拶状などを送付させていただくことがあります。



HTMLアルバム 作成支援ツール 機能・操作 解説書

制作・著作 夢企画